

メコンの風 2017

Mekong no Kaze

ホーチミン
日本商工会年誌

◆
2016年度活動報告
(2016年4月～
2017年4月)

One for All, All for One

「One for All, All for One」をスローガンに掲げました。

これは皆さんよくご存知の通り、

「1人はみんなのために、みんなは1人のために」という

ラグビーの基本精神を示した言葉です。

そして、一人ひとりの会員を商工会という組織がサポートする。

この両輪がかみあうことで、すべての会員の方に

「商工会に入ってよかった」と感じて頂けるようにしたい。

(本文より)



目次

2016年度の活動を振り返って	4
第23回総会	5
活動報告	
テーマ1:事業・生活環境の改善	6
テーマ2:日本人社会への協力	12
テーマ3:ベトナム社会への貢献と交流促進	14
テーマ4:学び	16
事務局歳時記	20
「JBAHそうだったのか!」JBAHが分かるQ&A	22
JBAH10大トピックス	24
データで見る商工会活動	26
委員会別・活動報告	28
部会別・活動報告	30
特別企画:ある日の大林功事務局長	35
JBAHニュースフラッシュ	36
事務局主要活動実績表	38
役員一覧	42
2016年度の動き:ベトナム・日本・世界	45
事務局のご紹介	46
JBAH会員になろう!	47

2016年度の活動を振り返って



ホーチミン日本商工会会長
前野 浩二

2016年度のJBAHは「One for All, All for One」をスローガンに掲げました。これは皆さんよくご存知の通り、「1人はみんなのために、みんなは1人のために」というラグビーの基本精神を示した言葉です。会員一人ひとりが声を上げることで、商工会という組織が動く。そして、一人ひとりの会員を商工会という組織がサポートする。この両輪がかみあうことで、すべての会員の方に「商工会に入ってよかった」と感じていただけるようにしたい。そう願って、役員一同、この一年間活動してまいりました。

この理念を実現するため、いくつかの新しい試みに取り組みました。そのうちの1つは盆踊りとマラソン大会です。今までも、ゴルフコンペやテニス大会など、会員相互の親睦を深めるためのスポーツイベントは開催してきました。しかし「もっと幅広く、日越誰でも参加できるイベントはないか」と考えて出てきたのが盆踊りとマラソンです。11月のジャパンベトナムフェスティバルの中で共同開催となりました、第1回目の盆踊り大会は成功裏に終了。また12月に開催されたマラソン大会も、スポーツイベントとして商工会史上最多となる1,000人を超える方々にご参加いただきました。こうした日本人同士の輪、そして日越交流の輪が今後も継続されることを祈っております。

マンスリーレポートも、今年から始めたものの1つです。本年度の方針の1つに掲げた「会員主体・全員参加型の商工会運営」を実現するには、商工会の活動が、会員の皆様にきちんと伝わっていることが必須です。これまでもメール、ウェブサイトといったツールはありましたが、「もう1歩、踏み込んだ形で会員の皆さんに情報をお届けしたい」と考え、直近の一ヶ月の商工会の活動、近々に予定されている行事などを、1つのメールにまとめて、毎月1回配信してまいりました。

我々の事業環境・生活環境の改善を推進する場である、ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル会議においては、今年も大きな成果をあげました。本年度、会員企業の皆様から頂いた要望は、昨年172項目を大きく上回る228項目。これを最終的に22項目の要望に絞り込み、ホーチミン市人民委員会各部署と議論を行いました。このうち14項目について「完全に解決または大幅な改善」という成果を得ています。また昨年出した38項目の要望についても、23項目が「完全に解決または大幅な改善」という結果でした。

更にロンアン・ビンズン・ドンナイ・バリアブントウの周辺各省との対話集會も、地域部会の皆様のご尽力により、定着して参りました。

紙幅の制限のため触れることはできませんが、各委員会、各部署においても、商工会活動をより意義あるものにする取り組みが、多数行われました。ご尽力頂いた皆様に御礼を申し上げます。

2017年度には、ベトナム国内にある3つの「日本商工会」を「日本商工会議所」へと名称変更することが議論されています。これは単なる名称の変更ではなく、日本商工会がより一歩大きなステージに上がることの象徴でもあります。JBAHにとって画期的な年になることでしょう。

最後になりましたが、いつも商工会活動にご理解とご協力をいただいております総領事館をはじめとする関係諸機関の皆様、そして大林事務局長以下、事務局の皆様にご心より御礼を申し上げます。私事になりますが、ベトナムでの赴任が6年になり、この4月に帰国することとなりました。ベトナム駐在最後の年に、会長という貴重な経験をさせていただいたことで、かつてない思い出深い一年となりました。帰国後も、JBAHおよび会員企業の皆様のご発展を、日本の空よりお祈りしております。この1年間、ありがとうございました。

2016年度 第23回総会 2016年4月21日

2016年度のホーチミン日本商工会の活動は、2016年4月21日に行われた総会で始まり
ました。在ホーチミン日本国総領事館の中嶋敏総領事のご挨拶、そして2015年度に会長
をつとめた坂上勉会長により活動報告が行われました。2016年度会長として前野浩二会
長が承認され、「One for All, All for One」という今年のスローガンを軸とする新年度の方針
を、パワーポイントを使って説明しました。総会終了後は、新しく承認された役員と共に、
第1回の理事会を開催。引き続いて行われた懇親パーティは多数の参加者で賑わいました。
総会の様子は、時事通信、NNAでも報じられています。



前野新会長からは、商工会活動に対するアンケート結果なども引用しながら、新年度の活動方針が具
体的に述べられました。



会場は昨年に引き続きホテル・レペリー・サイゴンにご提
供されました。



坂上勉・2015年度会長に記念のバ
ネルが贈呈されました。

●JBAH 歴代会長一覧

代目	年度	氏名	所属
初	1994	広岡 正夫	三井物産
2	1995	伊東 淳一	日商岩井
	1996	伊東 淳一	日商岩井
3	1997	伊東 淳一	日商岩井
	1998	大北 裕之	住友商事
4	1999	岩間 憲道	三井物産
5	2000	山崎 未次	三菱商事
6	2001	浅田 弘一郎	住友商事
7	2002	今津 康雄	三菱東京UFJ銀行
8	2003	会川 精司	日商岩井
9	2004	松林 勝	三菱商事
10	2005	脇 郁晴	双日
11	2006	石田 泰	丸紅
12	2007	中川 卓男	三菱東京UFJ銀行
13		深山 隆	味の素
14	2008	大西 範和	住友商事
15	2009	小須田 森仁	双日
16	2010	柏木 利夫	三菱商事
17	2011	那須 泰孝	みずほコーポレート銀行
18	2012	森 光廣	ピナキョウエイスチール
19	2013	山口 貴美雄	双日
20	2014	百石 洋人	三菱商事
21	2015	坂上 勉	丸紅
22	2016	前野 浩二	JFE スチール

総会には200社を超える会員企業が
参加しました。

◆事業・生活環境の改善

商工会活動の大きな柱の1つが事業環境および生活環境の改善です。半年以上の時間をかけて準備するホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル以外に、周辺各省の人民委員会などと緊密に連携しながら、2016年度も環境改善を進めてきました。

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル



ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルは、環境改善のためのいちばん重要な場です。半年以上かけて準備を進め、12月14日の本会議にのぞみました。

本年度、会員企業から出された要望は、昨年の172項目を大きく上回る228項目にのぼりました。これを各委員会が協議・検討して22項目に絞り込み、ホーチミン市人民委員会各部署と議論を行いました。このうち14項目について「完全に解決された、又は大幅に改善」という成果を得ています。これに関しては、事業環境委員会、労働・雇用委員会、金融・税務・通関委員会の3委員会が主導して行いました。

●ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(2016年12月14日)

今年度は「法務・労務」、「税務」、「通関」、「生活環境」の問題に関する要望に対して具体的な解決策を求め、ホーチミン市人民委員会側各部署より丁寧にご回答いただきました。



ラウンドテーブルへの積極的な参加を呼び掛けるため、ポスターを作ってPRしました。



●レタントン通りとチュウマンチン通りの三叉路に信号設置

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルにおけるJBAHからの要望を受けて、2017年に信号が新たに移設・設置されました。現在では車、バイクが信号を守っているシーンを見ることができます。

■2016年度ラウンドテーブル開催までの経過

7月	JBAH会員企業に本ラウンドテーブルに向けて要望を募りました。集まった228項目の要望を22項目に絞り込みました。
8月	ホーチミン市側に当該22項目の要望書及び2014年・2015年の部局の回答に関するフィードバックを提出しました。 ●法務・労務に関する要望5項目、2015年回答のフィードバック4項目 ●税務に関する要望6項目、2015年回答のフィードバック3項目 ●通関に関する要望6項目、2015年回答のフィードバック2項目 ●生活環境に関する要望5項目、2014年回答のフィードバック11項目 ●2015年回答のフィードバック18項目
10月	事業環境委員会(法務・労務チーム、税務・通関チーム、生活環境チーム)がホーチミン市側とプレラウンドテーブルを開催しました。
11月	プレラウンドテーブル後、29項目の要望についての評価を実施し、ホーチミン市側に評価コメントを提出しました。
12月	ラウンドテーブル開催。

ホーチミン市との連携

新年度の役員が決まると、揃ってホーチミン市人民委員会へ表敬訪問をするのが恒例となっています。人民委員会のトップと直接話ができる貴重な機会ですので、単に挨拶をするだけでなく、具体的な要望も出します。マラソン大会への協力依頼も、この場で行いました。

2016年、ホーチミン市共産党書記に就任したディン・ラ・タン氏は、その強力なリーダーシップで知られた人物です。新年度開始早々、フォン委員長に加え、同書記にも表敬訪問しました。

これ以外にも、JBAHでは普段から機会を設けてはベトナム側の諸機関と親交を深め、良好な関係の構築につとめています。



●ホーチミン市人民委員会表敬訪問 (2016年5月30日)

ホーチミン市人民委員会への表敬訪問を行い、フォン委員長からは、「JBAHの当地での貢献を高く評価しています」という言葉が述べられました。



●ホーチミン市ディン・ラ・タン共産党書記表敬訪問(2016年4月22日)

総会の翌日、JBAH執行役員にてホーチミン市ディン・ラ・タン共産党書記を表敬訪問しました。ラウンドテーブルなどJBAHの取り組みについて高い評価をいただきました。

ホーチミン市との連携



●ホーチミン市人民委員会
主催の新年会
(2017年1月17日)

新暦の正月明けに行われた新年会には、各国の団体と共にJBAHも招待されました。出席していたフォン委員長とは、今後、どのようにして協力関係を発展させていくか、ざっくばらんな意見交換をしました。



●ホーチミン市人民
委員会との懇親
夕食会
(2016年12月14日)

ラウンドテーブルの後、人民委員会側とJBAH側の参加者で懇親夕食会を行いました。



●ホーチミン市人民委員会リエム副
委員長とバッジを交換する前野会長
(2016年12月14日)

ラウンドテーブルの後、実り多い会議を実現するため尽力くださったホーチミン市人民委員会リエム副委員長に、感謝の印として、前野会長からJBAHのバッジを進呈しました。

周辺各省との連携



●ビンズン省人民委員会表敬訪問(2016年6月15日)

ビンズン省人民委員会リエム副委員長からは「2014年から現在までの3年間は国別外国投資ランキングは連続して日本がトップになっています」と説明がありました。会合は、今も開発が進められているビンズン新都心の中にある新庁舎で行われました。



●ビンズン省における日系企業との対話会合(2016年9月23日)

ビンズン部会員をはじめ約30社の日系企業が出席し、日系企業が同省で抱えている諸問題について活発な意見交換が行われました。対話会合の後には、地元テレビ局などがビンズン部会の山本部長取材し(右写真)、ベトナム側でも日本企業の動きに関心が高いことがうかがえました。

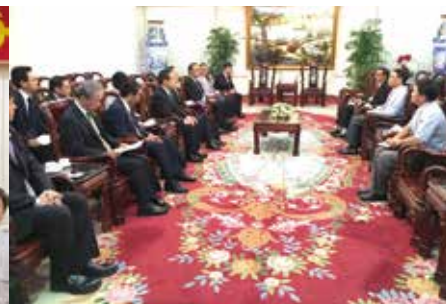


JBAH 会員企業が活動しているのは、ホーチミン市だけではなく、その周辺に位置するビンズン省、ドンナイ省、バリアブントウ省、ロンアン省でも多くの会員が活動しています。JBAH の中には、それぞれの地域部会があり、その合計会員数は、200社を超えています。それぞれの部会と地元行政機関との対話会合は、安定的に開催されており、事業環境の改善に役立っています。



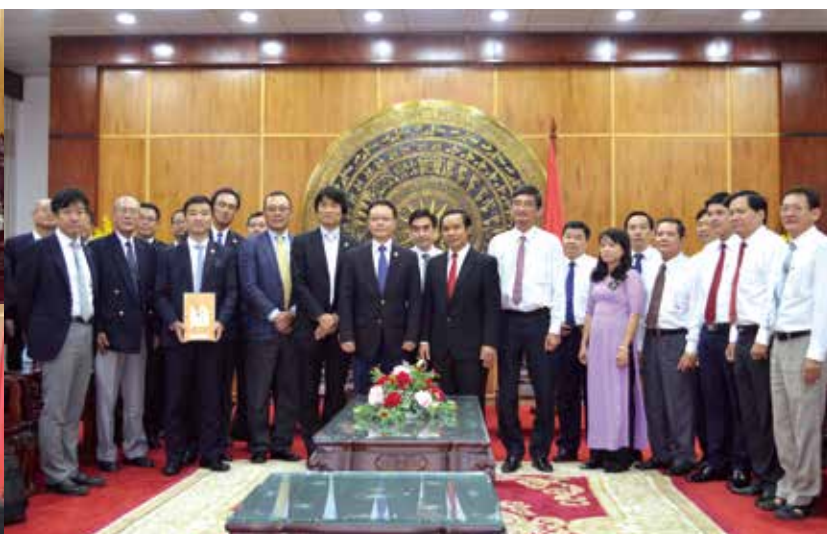
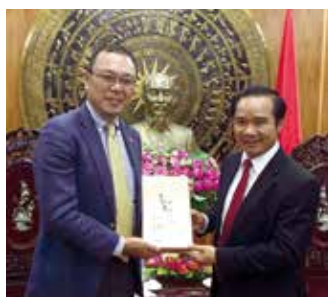
ビンズン省人民委員会新庁舎

周辺各省との連携



●ドンナイ省人民委員会表敬訪問 (2016年5月27日)

ドンナイ省人民委員会クン副委員長を表敬訪問し、省内の日系企業進出状況について報告いただくとともに、日系企業との対話会合開催について提案がなされました。



●ロンアン省人民委員会との意見交換会(2016年8月31日)

ロンアン省人民委員会ドゥック副委員長を表敬訪問し、ロンアン部会員が抱える事業環境上の問題点について要望をおこないました。会の終了後、ロンアン省側から記念品が贈呈され、野田副会長、大林事務局長が、それぞれ代表して受け取りました。

●バリアブントウ省 人民委員会との意見交換会 (2016年9月8日)

バリアブントウ部会員が、工業団地での交通、インフラ、電力供給、生活環境などについて、要望を提出しました。



さまざまな面からの環境改善



日越関係は、史上最良の状態にあると言われており、日本とベトナムの間では、さまざまなプロジェクトが進行中です。またベトナムと近隣諸国との関係も、緊密になってきています。JBAHとしても、そうした動きと協調しながら、会員企業の事業環境・生活環境の改善に取り組んでいます。

●日越共同イニシアティブ (2016年8月22日)

日越共同イニシアティブ第6 フェーズがキックオフしました。今後2年間にわたり、分野毎に投資環境上の問題点について日越両国にて改善を目指します。



●ASEAN日本人 商会議所連合会 総会とASEANミ ン事務総長との対 話会合 (2016年10月2日)

インドネシア・ジャカルタにて、ASEAN 日本商会議所連合会(FJCCIA) 総会、ミン事務総長との対話会合が開催されました。



●日本人学校用地 賃借料に関する 陳情 (2016年8月25日)

ホーチミン日本商工会
ホーチミン日本人学校の
学校用地賃借料に関し
て、ホーチミン市人民委
員会フォン委員長に要望
を提出しました。

◆日本人社会への協力

ベトナムには在住日本人をまとめる組織である「日本人会」がないため、商工会がそれに代わる働きをしています。子どもの教育になくてはならない日本人学校も、運営を行っています。ゴルフコンペ、マラソン大会など、会員間の親睦を深める行事だけでなく、会員以外でも参加できる新年会なども商工会が行っています。

日本人学校の運営



●ホーチミン日本人学校入学式 (2016年4月13日)

小学部 63名、中学部 26名の新入生を迎え、全校生徒 445名で新学期をスタートしました。



●ホーチミン日本人学校新校舎竣工式(2017年2月17日)

2016年3月に安全祈願祭を行い着工した新校舎が2017年1月に竣工しました。「日本と変わらない学習環境で学んでほしい」という願いのもと、JBAH会員、特に建設関連業種企業が中心となって、正にALL JAPANで取り組んだ新校舎です。



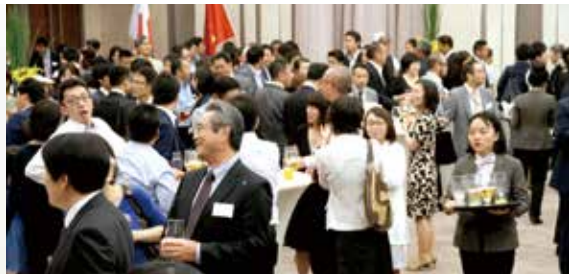
竣工式には、着任間もない河上淳一総領事も出席されました。

在留邦人の親睦のために



●第1回JBAHマラソン (2016年12月11日)

ホーチミン日本人学校をメイン会場とし、会員企業の社員やご家族、日本人学校の児童生徒たちなどが参加しました。参加者数は1000名を超え、JBAH 史上最大のスポーツイベントとなりました。ベトナム人社員と日本人社員が共に汗を流すチームビルディングの良い機会になったほか、家族連れで和気あいあいと参加する姿も見られました。



●JBAH新年会(2017年1月6日)

昨年を超える約530名のJBAH 会員並びにご家族の皆様に参加いただき、ホテルニッコーサイゴンにて行われました。毎年恒例の餅つきイベントやご当地アイドルによる歌と踊り、サンドアートなどが披露され、楽しい時間を過ごしました。



感謝状の贈呈。MP ロジスティクス社は、2年連続でトップスポンサーになってくださいました。



●JBAH JAPAN CUP 2016 (2016年9月25日)

タンソンニャットゴルフ場にて、約300名にご参加いただき、今年も盛大に行われました。チャリティーコンペとして多くの会員企業にスポンサー協力を頂き、大会後には社会貢献委員会より感謝状を贈呈させていただきました。2つのコースのうち1つは、在ホーチミン日本国総領事館中嶋総領事（現・パプアニューギニア大使）が優勝という、印象深いできごともありました。

◆ベトナム社会への貢献と交流促進

私たちが事業を行い、そして生活しているベトナム社会との共存共栄をはかっていくことも、JBAHの大切な活動の1つです。「会員の皆さんから集められた寄付金を、何に使うのが最適なのか」を、社会貢献委員会が中心となって吟味・検討しています。また日本人・ベトナム人が一緒に楽しめる「ぼんおどり大会」も行いました。

ベトナム社会との共存共栄



●ロンアン省Tan Thanh県の村里に 橋を建設。贈呈式を開催 (2017年2月11日)

通学途中にある木造橋の老朽化により、月に4～5人の子供が川に落下していた危険な橋を架け替えました。橋の開通式には村中の方が集まり、子供達には文房具や通学カバン、自転車などを贈呈いたしました。



JBAHが橋を寄贈する前の状態



●児童養護施設を訪問チャリティーの 贈呈と子供達との交流

約350名の孤児が生活しているビンズン省のQue Huong チャリティセンターを計2回訪問しました。お菓子作り体験のほか、竹とんぼや紙風船といった日本の伝統的な遊びを一緒に楽しみ、テト前の訪問では、子どもたちが気持ちよく新年を迎えられるよう制服と太陽熱温水器を贈呈しました。



●日本語教師能力強化プロジェクト

小学校から大学で教鞭を執る若手教師を対象に、週2回8週間の講座を開講(2016年10~11月および2017年1~3月)。16名が修了しました。受講者の「日本人と接し文化を理解する機会がほしい」という要望に応え、JBAH新年会に招待するなど、交流の機会も提供しました。



●BJT(ビジネス日本語能力テスト)の受験をサポート。成績優秀者を表彰(2017年1月19日)

質の高い日本語人材の育成を目指し、受験対策講座の開講、受験料の支援などを行いました。試験の成績優秀者5名は、在ホーチミン日本国総領事公邸に招かれ、矢ヶ部首席領事より表彰状と記念品が贈呈されました。



●小中学校にサッカーボール500球を贈呈(2017年3月6日)

ホーチミン市サッカー連盟の協力の下、ホーチミン市内の小中学校100校に対して、500球のサッカーボールを贈呈しました。7区の小学校で行われた贈呈式の後には、地元サッカーチームの子供たちと交流試合を開催しました。



●「日越交流ほんおどり大会」を初開催(2016年11月19日)

ジャパンベトナムフェスティバル(JVF)と共催で、「日越交流ほんおどり大会」を初開催しました。この日のために「日越平和音頭」「日越友好囃」という2つの踊りが作られ、JVF2日間の開催で22万人を動員する盛り上がりを見せました。法被を着て参加するベトナム人の方も多く、踊りの飲み込みの早さにも驚きました。



◆学び

毎月数回行われているJBAH 会員対象の無料セミナーは「お金を払ってでも出たい」と言われるほど、貴重な情報が得られる場です。その内容は、事業運営に関するものから、より快適で安全な暮らしのための生活情報まで、広範囲にわたります。それ以外にも、さまざまな学びの機会が会員に提供されています。

事業に役立つ学び



●中小企業・裾野産業支援
委員会主催「現地調達率拡大
セミナー」(2017年3月3日)

JETRO 海外投資アドバイザー栗原善孝氏を講師に、ベトナムで部品仕入れ先を拡大するための貴重な情報提供と戦略についてお話いただきました。



●中小企業・裾野産業支援
委員会主催学習会「ビックリ
する追徴のメカニズムとその
時の心構え」

ベトナムに会社を設立してからの20年間で経験した税務調査の実態を、渡邊中小企業・裾野産業支援委員長に経営者目線でお話し頂くとともに、I-GLOCAL 實原社長にもご登壇いただきディスカッションをおこないました。



●労働・雇用委員会主催
「ベトナム労働法セミナー」
(2016年7月22日、9月23日)

「基礎セミナー」と「ケーススタディ編」の2回に分けて開催。基礎セミナーでは3名の弁護士にご登壇いただき、雇用の開始から雇用の終了までの要点を分かりやすく解説頂き、ケーススタディ編では、基礎セミナーに登壇した弁護士に加えて4名の企業委員も登壇し、実例を交えながらパネルディスカッションが行われました。





●ホーチミン最前線ビジネスセミナー(2017年1月18日)

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルのフィードバックを中心に開催。人民委員会労働傷病兵社会局雇用室チュック副室長の講演の後、ラウンドテーブルを通じて入手した最新情報を、中川事業環境委員長(法務労務分野)、小野瀬金融・税務・通関委員長(税務通関分野)、安立生活環境委員長(生活環境分野)からそれぞれ解説いただきました。



●金融・税務・通関委員会主催
「税制セミナー」
(全4回シリーズ)

移転価格税制、個人所得税制、付加価値税制・外国契約者税制、法人税制の基礎セミナーを4回に分けて開催。応用セミナーを求める受講者の声に応え、年度末に急ぎよ追加開催を決定。基礎セミナーに登壇した4人の講師が一堂に会し、ベトナム税制セミナー応用編も開催しました。



●渉外・VBF委員会主催
中国広州視察団
(2016年10月13~15日)

広州トヨタ、JETRO 広州事務所等を訪問するとともに、広州から高速鉄道にて南寧へ移動し、東部経済回廊を南寧からハノイまで陸路で国境を越えました。

生活に役立つ学び



●生活環境委員会主催 「生活環境セミナー」(全2回)

7月1日に開催した第1回は「知っておいて損なし！ベトナムの空気環境の現状とは！」と「自分の身は自分で守る。ベトナムの環境衛生と感染症予防」の2部構成でおこないました(写真左)。

10月31日に開催した第2回は、在ホーチミン日本国総領事館・JBAH 共催で「今懸念されるリスクについて～ベトナムの空気環境および感染症(ジカ熱等)の現状と対策～」および「PM2.5をはじめとする大気汚染の健康影響とその対策」というテーマについて、在ホーチミン日本国総領事館・坂本篤領事、兵庫県医科大学・島正之教授にご講演いただきました(写真下)。



●生活環境委員会 メールマガジン創刊 ベトナム生活「虎の巻」シリーズ

会員のご家族の皆様にも伝わりやすい形で情報を発信したいとの想いからメールマガジンを創刊。それぞれ異なるテーマを取り上げ、計5回発行しました。

第1号(7月4日発行)「意外と知らない「水の常識」
ホーチミンの水に関するすべての疑問にお答えします！」

第2号(8月10日発行)「ホーチミンの水は、どのように作られているのか?浄水場を見学してきました」



第3号(10月24日発行)「ベトナムには救急車がなくて本当? 緊急医療対策はできていますか?」

第4号(1月6日発行)「職場と生活の安全について、もう一度、考えてみませんか?」

第5号(3月28日発行)「ちょっとした情報やコツを知っていると、旅行が何倍にも楽しくなります」



人生に役立つ学び



●JBAH特別講演回「眼科医・服部匡志先生講演会」(2017年1月25日)

「ベトナムの赤ひげ先生」として有名な眼科医・服部匡志先生をお招きし、今日に至るまでのルーツやベトナム医療の現状などをリアルに語って頂きました。服部先生は、ベトナムで失明の危機に直面した1万人以上の患者を無償で治療し、2014年にはベトナム政府より外国人に対する最高位の「友好勲章」も受勲されています。



●「接待のためのワイン講座&知っているようで知らなかったベトナム生情報」(2017年2月17日)

JBAH 史上最速での申込締切となったセミナー。第一部では、渡邊豊中小企業・裾野産業支援委員長にベトナムならではのワインの楽しみ方と接待のポイントを、第二部では、JBAH 大林事務局長に事務局長の目線で見えたベトナム生情報についてお話しいただきました。



●中小企業・裾野産業支援委員会主催 「ベトナムの近代史&映画原作者 小松みゆきさん講演会」(2017年3月9日)

ベトナムとの関わりが長い3人によるコラボレーションセミナー。JBAH 坂上勉副会長とIVS 浅井崇氏(たかし)代表には、映像を交えながら近代史を読み解いていただき、日越合作映画「ベトナムの風に吹かれて」の原作者・小松みゆきさんには、元日本兵の家族との交流や天皇后両陛下御来越にまつわるお話をいただきました。



●中小企業・裾野産業支援委員会主催 「在ホーチミン日本国総領事館 三宅妙子領事講演会」 (2016年6月27日)

ベトナムが国際社会に復帰を始めた1990年代からベトナムを見つめ続けてきた三宅領事にご登壇いただき、ベトナムの変貌ぶり、そしてその中でベトナム人のメンタリティーがどのように変化したか、あるいは何が変わらなかったのかについて、ご自身の経験を元に幅広くお話しいただきました。

事務局 歳時記

商工会活動をより効果的かつ円滑に行うため、会長を筆頭に、事務局および理事・役員は、さまざまな活動を行っています。その筆頭にあがるのが毎月開催されている理事会でしょう。多数の理事が参加し、商工会の活動について議論をしています。

対外的な活動もあります。2017年の1月には安倍首相が、そして2017年2月28日から3月5日までは天皇后陛下が、それぞれベトナムを訪問され、前野会長が謁見しました。ハノイにあるベトナム日本商工会(JBAV)など、関係諸機関との会議も重要な活動です。また事務局を訪問して来られる多数のお客様の対応もしています。

▶サッカーベトナム代表三浦監督よりJBAHへ代表選手サイン入りユニフォームを頂きました。



▼毎月1回開催される理事会には多数の理事が参加します。理事会の内容はウェブサイトで見ることができます。



▲会長、事務局長が部会の会合に参加することもあります。これはビンズン部会の忘年会のときの様子。



▲総領事館とは常に緊密な協力関係を持っています。中嶋総領事が主催されるJBAH執行役員との懇親意見交換会も行われました。



▲離任される中嶋総領事夫妻の送別会を、JBAH執行役員主催で行いました。



◀中嶋総領事夫妻への送別プレゼントの似顔絵



JBAV柳井会長(左)とJBAH前野会長



小野瀬金融・税務・通関委員長と大林事務局長



ジャパンベトナムフェスティバル実行委員長をつとめられている武部勤元自民党幹事長をお迎えました。



梅田大使との昼食会を行いました。



フック首相と前野会長。



安倍首相と前野会長。



他国からお呼びがかかることもあります。大林事務局長が、香港でベトナム投資環境について講演を行ったときの様子です。

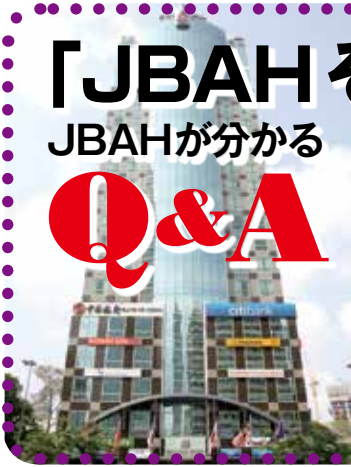


2016年7月、歴代会長への感謝の気持ちを込めて、会長名のボードをJBAH事務局に設置しました。

「JBAH そうだったのか!」

JBAHが分かる

Q&A



「JBAH って、何をやる団体なの？」

そういう質問をいただくことがあります。そこで、主に非会員の方からの質問をここにまとめて、一問一答の形で回答しました。さらに詳しくお知りになりたい場合は、JBAH のウェブサイトをご覧になるか、事務局までお問い合わせください。

Q：JBAH って、名前はよく聞きますが、何をしている団体なのか、実はよく分かりません。

A：JBAH は、ホーチミン市とその近郊で事業を営んでいる日本企業を中心に組織されている団体です。「みんなで知恵や情報を共有して、事業環境・生活環境をより良いものにしていきましょう」という主旨のもとにさまざまな活動をしています。

Q：JBAH に入ると、どんなメリットがありますか？

A：メリットは大きく2つに分けられるでしょう。1つは「情報」で、もう1つは「人脈」です。

JBAH には約 900 社の会員がいて、各社いろいろな情報をお持ちです。年に 20 回程度開催される無料セミナーや、部会活動の中で、それらを他の会員にも開示・共有しています。

会員企業数は 900 社ですが、社員数となると、その何倍もの日本人が JBAH に属しています。部会別に開催される会合、部会を超えた参加者が集うセミナーなどで、当地で事業を行っている在住日本人と知り合う機会が多数あります。

Q：JBAH の活動目的の 1 つに「事業および生活環境の改善」があげられていますが、具体的には何か成果はありますか？

A：事業面で 1 つ例をあげましょう。当地で事業をされている方は、不透明なお金の請求に悩むことがあると思います。これを改善すべく、毎年、ホーチミン市人民委員会と行っているラウンドテーブルで議論をしてきました。

その結果、当局から「賄賂の問題でまいったことがあれば、善処するので、ぜひ責任者に直接連絡が欲しい」と、役職者の携帯電話番号のリスト（通称：ホットライン）をいただきました。これは、JBAH の会員全員に公開されています。

1 社から苦情をあげても、当局はなかなか取り合ってくれません。しかし、日本企業 900 社が集まる JBAH という組織からの申し入れであれば、人民

委員会を動かすこともできます。

Q：ベトナムで事業・生活をしていて、改善して欲しいことが多々あります。どうすれば、これを聞いてもらえるのでしょうか？

A：日本企業および在留法人からの要望をホーチミン市人民委員会に申し入れる「ラウンドテーブル会議」が毎年、開催されています。それに先立ち、会員の皆さんにアンケートをとっています。そこに書き込んでください。要望の中には「逆走するバイクを何とかしてほしい」「空港の悪質なタクシーに悩まされている」など、日常生活に関する内容も含まれています。こういった悩みも、JBAH を通して声をあげることで、徐々に改善されてきています。

Q：自分の会社の商品やサービスを、他の会員さんに PR することは可能ですか？

A：可能です。まず入会すると JBAH のウェブサイトの「今月の新会員企業」というコーナーに、会社の紹介が掲載されます。

自社の商品やサービスをアピールしたいときは、「メンバーフォーラム」というメールサービスが利用できます。例えば「新製品を出しました」とか「セミナーの参加者を募集中です」など、自社の製品の PR ができます。毎月 1 日、15 日前後に、全会員に対して配信しています。

ウェブサイトの会員専用コーナーの中に、申し込みフォームが用意されていますので、ぜひ活用ください。

Q：日本料理レストランに行くと、時々「JBAH カード」のマークを見かけます。

A：提携店で提示することで、割引きなどの特典を受けることができるカードです。レストランだけでなく、ホテルやスパなど、単価の高い施設も含まれており、「JBAH カードの割引きだけで、年会費の元はとっている」という会社もあるほどです。日本人社員だけでなく、そのご家族にもご利用いた

いただけます。福利厚生に最適です。各社 3 枚までは無料、4 枚目からは 1 枚 10 万ドンで発行しています。業務時間内に事務局にお越しください。

Q：会員の親睦のために、ゴルフコンペと食事が行われていると聞きましたが、私はゴルフもしないし、お酒も飲みません。それでも大丈夫でしょうか？

A：ご安心ください。ゴルフや食事は、JBAH の活動のごく一部に過ぎません。中心となる活動は、ビジネスに関する勉強会や、環境および生活環境の改善活動などです。そういった場において、他の会員と知り合いになる機会は多々あります。

Q：大企業の方はともかく、私のような中小企業でも、入ってメリットはあるのでしょうか？

A：JBAH の中には、中小企業の活動をサポートするための専門委員会まで設けられているほどで、実は中小企業の方のほうが、入会のメリットは大きいかもしれません。

JBAH の会員になると得られるメリットの 1 つは情報が得られることです。これらを一社で集めるには、膨大な経費と手間がかかります。自社内に法務部門があるような大企業なら、自力での収集が可能かもしれません。でもそういうことが難しい中小企業こそ、JBAH に入ると得られる恩恵が大きいのではないのでしょうか。

Q：JBAH に入ると、何か仕事の分担が回ってくるのでしょうか？ 本業が忙しいので、これ以上、仕事が増えるのは避けたいのですが。

A：JBAH で行われているさまざまな活動は、会員企業が手分けして行っています。しかし、それらに参加するかどうかは、あくまでも会員の皆さんの自由意志です。

例えば「会社の運営上困っていることがあるので、事業環境委員会に入ってそれを改善したい」とか「前からボランティア活動に興味があったので社会貢献委員会に参加したい」とか「人脈を増やしたいので部会の理事に」など、自分自身の本来業務や興味に合致する範囲内で、活動に参加していただければと思います。その際も「無理なくできる範囲で」というのが原則です。

Q：年会費以外に、寄付金などの割り当てはあるのでしょうか？

A：年会費以外の費用は必要ありません。JBAH が行っている社会貢献活動に使われるお金は、会員の皆さんからのチャリティーで賄われていますが、これらは自発的に拠出いただいたものです。

Q：JBAHに入るといろいろな情報が入手できると聞きましたが、ウェブサイトや日本語フリーペーパーがあるから、それで十分なのでは？

A：情報源が異なると得られる情報も違います。例えば、新しくできたレストランの情報を得るにはウェブサイトやフリーペーパーが圧倒的に便利でしょう。一方、新しくできた法律、制度や事業環境についてであれば、JBAHからは信頼性の高い情報を得ることができます。このような使い分けを考えられてはいかがでしょうか。

Q：JBAHの年会費は他国と比べて高いのでしょうか、安いのでしょうか？

A：ASEAN 諸国の商工会議所の会費を高い方から順に並べてみました（概算）。分かりやすくするために、1年間の会費を米ドルに換算してあります。

1. ジャカルタジャバンプラブ（インドネシア）：1380 ドル
2. シンガポール日本人商工会議所：1164 ドル
3. ベトナム日本商工会：1092 ドル
4. バンコク日本人商工会議所：984 ドル
5. マレーシア日本人商工会議所：948 ドル
6. ホーチミン日本商工会：780 ドル
7. カンボジア日本人商工会：396 ドル

ベトナム以外の国では、事業に関しては日本商工会議所、生活に関しては日本人会と2つの組織があり、会費もそれぞれに発生します。ベトナムの場合、商工会が、これら2つの組織を兼務していることを考えると、かなり割安だと言えるのではないのでしょうか。

Q：参加するメリットを享受しているのが、一部の人に片寄ることはないのでしょうか？

A：JBAHの活動は、業種の種類や企業規模の大小に関係なく、平等に開かれています。積極的に参加すればするほど、JBAHに参加したメリットを感じていただくことができるでしょう。無料で開催されているセミナーなどに積極的に参加することを通して、ぜひ「入って良かった！」という実感を得てください。

Q：仕事が忙しく、かつ業務時間が不規則なので、「入会してもイベントやセミナーに参加する機会が持てないのでは？」という点が心配です。

A：イベントやセミナー以外にも、JBAHに参加して得られるメリットはいろいろあります。セミナーに関しては、スケジュールの都合で参加できなかった方のために、レジュメをウェブサイトに保存してあるので、いつでもご覧いただけます。それ以外にも、メールやウェブでさまざまな情報提供をしています。

Q：入会資格はありますか？ 私の会社は社員数名、資本金も少ない零細企業なのですが。

A：心配はご無用です。「ベトナム国内にはその近郊に事業所がある日系法人」であれば、社歴や企業規模に関係なく入会いただけます。実際に「社員は1人だけ」という会員企業もいらっしゃいます。

Q：正会員と準会員があると聞きました。

A：「正会員」と「準会員」の違いは「日本の資本が入っているかどうか」です。資本が入っていないと準会員になります。準会員の場合、日系企業である必要がない代わりに、常勤の日本人社員がいることが必要です。

Q：本社はハノイですが、ホーチミンにも事業所があります。入会は可能ですか？

A：可能です。ハノイのベトナム商工会（JBAV）とホーチミン日本商工会（JBAH）は別組織ですので、入会金・年会費は、それぞれに発生します。

Q：会社には所属していない個人ですが、入会は可能ですか？

A：残念ながら、現在のところ、個人会員の入会は受け付けておりません。ただし社員が一人でも、法人格であれば入会可能です。

Q：JBAHには「部会」と「委員会」があるようですが、その違いがよく分かりません。

A：「部会」とは学校における「組」のようなもので、「委員会」とは「クラブ」のようなものです。学校に入ると、必ずどこかの組に入りますよ。でもサッカー部に入るか音楽部に入るか、もしくは入らないかは、その人の自由です。このように置き換えて考えていただくと理解しやすいと思います。会員は必ずどこかの部会に属します。委員会に参加するかどうか、どの委員会に入るかは、会員次第です。JBAHには現在13の部会と11の委員会があります。

Q：JBAHでどんな活動が行われているのかを知るには、どうしたらいいのでしょうか？

A：ウェブサイトとフェイスブックをご覧ください。ウェブサイトには、JBAHで行われた行事の報告、これから行う行事の案内が掲載されています。フェイスブックは、ウェブサイトよりもっとフットワークの良い情報発信を目指して2016年3月に開設されました。新しい情報が投稿されると、通知されます。

Q：会員と非会員では、得られる情報にどのような違いがありますか？

A：ウェブサイトには一般ページと会員専

用ページがあります。後者には、会員名簿、理事会の報告、ベトナム政府への要望書、開催されたセミナーのレジュメをはじめ、会員のみが閲覧できる貴重な資料が多数格納されています。

事務局からの連絡手段の基本となるのは一斉配信メールです。2016年度は、1年間で200通以上を発信しました。中でも定期的に配信しているメールが2つあります。

1つは、毎月1回、原則として1日に発行しているメールマガジン「マンスリーレポート」です。1カ月間に行われたイベントの報告、これから行われる予定のイベントの案内、会長からのメッセージなどが、掲載されています。もう1つは「メンバーフォーラム」。会員同士のビジネスマッチングをサポートするもので、毎月1日と15日にメールが送られます。

これらは社員の方々にも回覧していただき、情報の共有にお役立てください。

Q：メールで送られてくる情報としては、どんなものがありますか？

イベントやセミナーの案内が中心になりますが、緊急事態が発生したときは、これにとどまりません。2014年に発生した反中デモのときは、デモの状況や注意すべき事項をまとめたメールを、1日数回会員に配信しました。これの元になったのは、工業団地などにいる日系企業から事務局に寄せられた情報、そして、事務局が独自にベトナム当局から入手した情報です。「どこの報道機関よりも、迅速で正確な情報だった」と評判になりました。これはまた、組織としての強みが発揮された一例だとも言えるでしょう。

Q：社内には日本人だけでなく、ベトナム人や、日本人以外の外国人もいるのですが、JBAHの活動を紹介する日本語以外の資料もありますか？

A：ウェブサイトの右上に国旗のアイコンがあります。ここをクリックすれば、日本語、ベトナム語、英語という3カ国語で記述された資料があります。こちらをご活用ください。

Q：会員各社の名簿はあるのでしょうか。

A：会員になれば会員名簿を閲覧できます。全会員企業の社名、住所、連絡先が記載されています。

Q：既に会員なのですが、どう活動したらいいか、よく分かりません。

A：まずは部会の会合に参加しましょう。どの部会でも1~2カ月に1回、会合が開かれています。部会の案内メールは部会長から届きます。ご不明の点があれば、部会長にお問い合わせください。

1
成長

会員数は69社増で、ついに900社が目前！

ホーチミン日本商工会の会員数は2016年3月現在計893社（正会員798社、準会員95社）です。1994年に69社で発足したときから右肩上がりであり、会員数は増え続け、1,000社の大台が見えてきました。ベトナムにある3つの商工会の中では最大で、世界の商工会の中でも、上海、バンコクに次ぐ3番目に大きな規模です。

2
環境改善

ラウンドテーブル会議で環境改善。

会員企業とそこで働く社員、およびその家族のために、事業環境と生活環境を向上させていくことは、商工会活動のもっとも重要な役割。毎年開催しているホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル会議には、昨年の172項目を大きく上回る228項目の要望が寄せられました。最終的に絞り込まれた22項目のうち、14項目を解決することができました。

3
情報発信

マンスリーレポート創刊。

会員企業の皆様が商工会活動により積極的に参加していただくためには、情報の共有が欠かせません。事務局から適宜配信されるメール、ウェブサイトに加えて、毎月1回のメールマガジンを創刊しました。その1カ月、商工会でどのような活動が行われたのか、そして近々、どんな行事が行われる予定なのかを、まとめてお知らせしています。

4
社会貢献

JBAHの作った橋がメコンデルタの村に。

昨年開始した児童養護施設、老人福祉施設への支援に加え、ロンアン省の村に橋を寄贈するという新しい取り組みも行いました。これ以外にも、ベトナムの小中学校に対し、サッカーボールの寄贈、浄水器の設置など、ベトナム社会との共存共栄を目指しています。これらの資金は、会員の皆様からの任意の寄付によってまかなわれました。

5
教育

日本人学校に新校舎と新体育館。

進出する日系企業の伸びに伴い在留邦人数も増加し、ホーチミン日本人学校で学ぶ児童・生徒も増えています。これに対応するため、今年も施設の拡充を行いました。10月はじめには第2体育館、そして2017年1月末には新校舎が竣工しています。小学部・中学部合わせて500人近い児童・生徒が学んでいます。

気持ち良い汗で親睦を深める。

会員相互の親睦を深めるため、各種スポーツイベントを開催しました。中でも本年度が初の取り組みとなる JBAH マラソン（12月11日開催）は、1,000人超という多数の参加者で大いに盛り上がりました。恒例となっている第33回目のゴルフ大会・JBAH ジャパンカップ（9月25日開催）、第21回全越オープンテニス大会（3月5日開催）も好評のうちに行われました。

6
スポーツ

フェイスブックが盛り上がる。

2016年3月に開設されたJBAHのフェイスブック。1年間で1300人近くのかたから「いいね!」を頂きました。ウェブサイトとは一味違う、フットワークの軽い情報発信を行っています。事務局からの発信だけでなく、各委員会が自分たちの活動を投稿したり、会員からのコメントの書き込みがあったり、多方向のやり取りが行われています。

7
SNS

草の根レベルでの日越交流。

11月19日、「ジャパンベトナムフェスティバル」の中で、同フェス実行委員会とJBAH共催による日越交流ほんおどり大会を実施。多数の日本人・ベトナム人が参加しました。12月11日開催のJBAHマラソンも、参加者の約7割がベトナム人という日越交流の貴重な場となりました。これらに加え、さまざまな社会貢献活動を通じても交流を行っています。

8
日越交流

天皇皇后両陛下や安倍首相との謁見。

2017年2月28日から3月5日まで天皇皇后両陛下がベトナムを訪問されたことは、両国の歴史において記念すべきできごとでした。前野会長と坂上副会長がハノイにおもむき謁見しています。2017年1月の安倍首相来越の際にも、前野会長がお目にかかりました。JBAHはホーチミンを中心とする日本企業・在留日本人の代表として外交の場でも活動しています。

9
外交

商工会議所への名称変更に一歩前進。

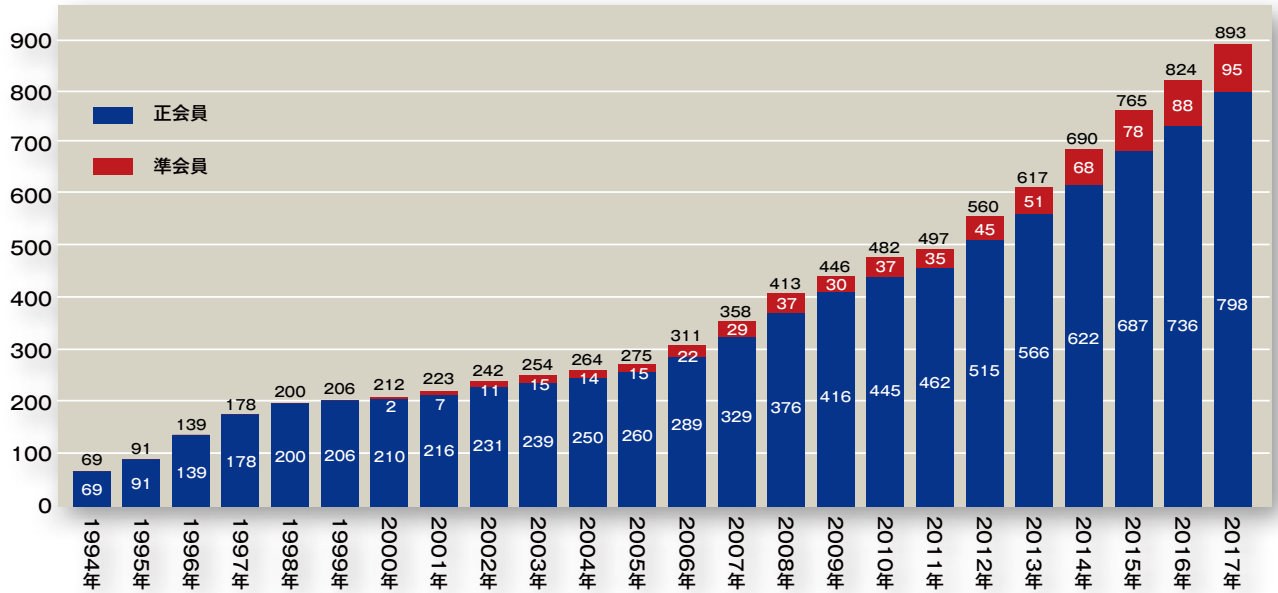
以前から議論されている「日本商工会」から「日本商工会議所」への名称変更に関して、2016年度は大きな進展がありました。名称変更に関しては、ハノイ、ダナンの商工会とも共同歩調をとっています。これは名前だけの問題ではなく、ベトナムで活動する3つの日本商工会が、一つ高いステージに上がることの象徴だと言えるでしょう。

10
飛躍

JBAHの活動を、それを取り巻く状況を、さまざまなデータから見てみましょう。会員数は現在893社(2017年3月時点)で、ベトナムにある3つの日本商工会の中では最大の規模を誇ります。またこれら3つの商工会の合計会員数は1661社で、ASEAN最大であるバンコク日本人商工会議所に迫る勢いで増加しています。

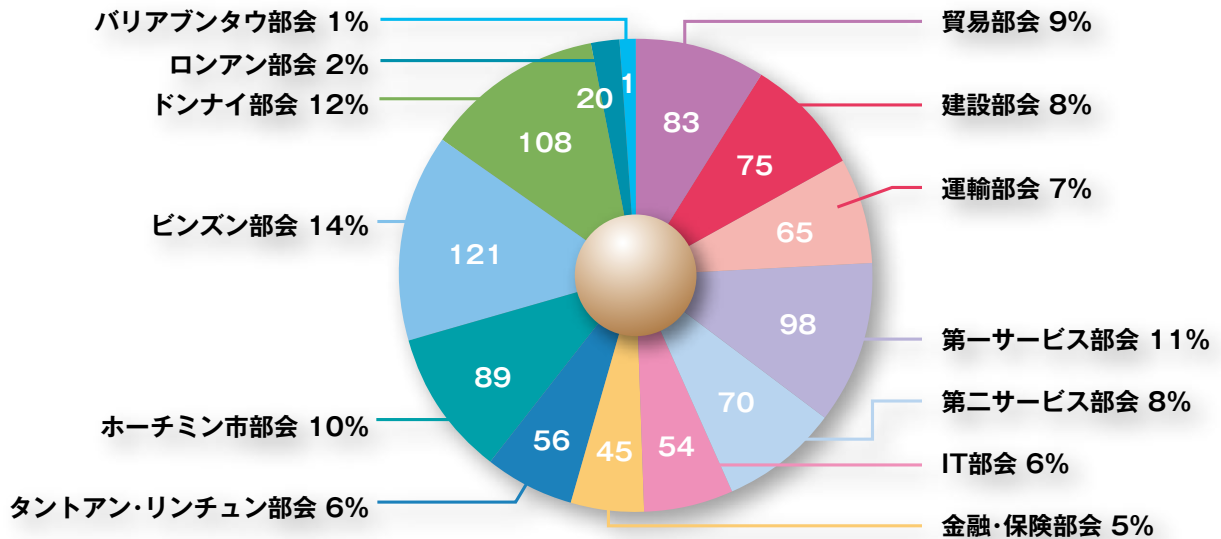
ベトナムと日本の関係は「史上最良」とも言われるほど良好で、ベトナムを訪れる日本人、そして日本を訪れるベトナム人の数は、年々右肩上がり増加しています。ベトナムに住む日本人の数も増えており、現在、世界で17番目に在留邦人の多い国になっています。

■会員数推移



※ 2017年3月時点

■会員業種比率



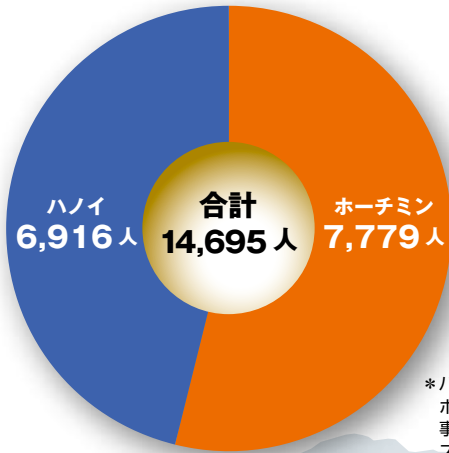
※ 2017年3月時点

■在ベトナム日本商工会の会員数比較



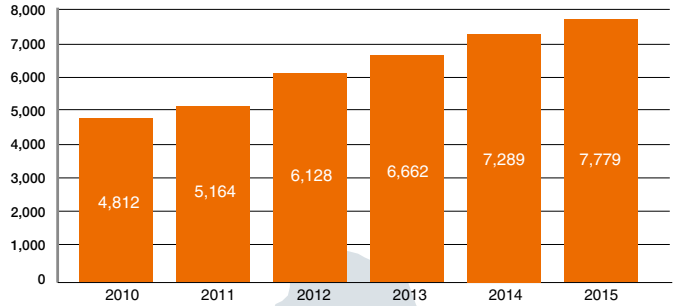
※ 2017年3月時点

■ハノイとホーチミンの在留邦人比較



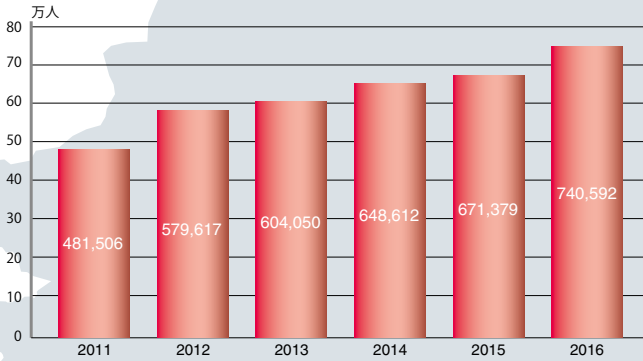
*ハノイは日本国大使館、ホーチミンは日本国総領事館への在留届提出ベースでの数字

■ホーチミン在留邦人数の推移

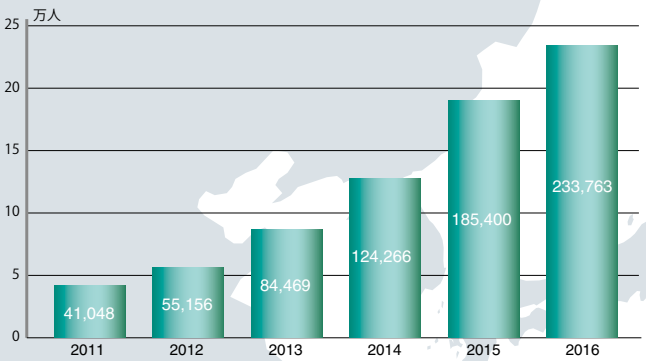


出典：外務省海外在留邦人統計

■ベトナムを訪れた日本人の人数推移

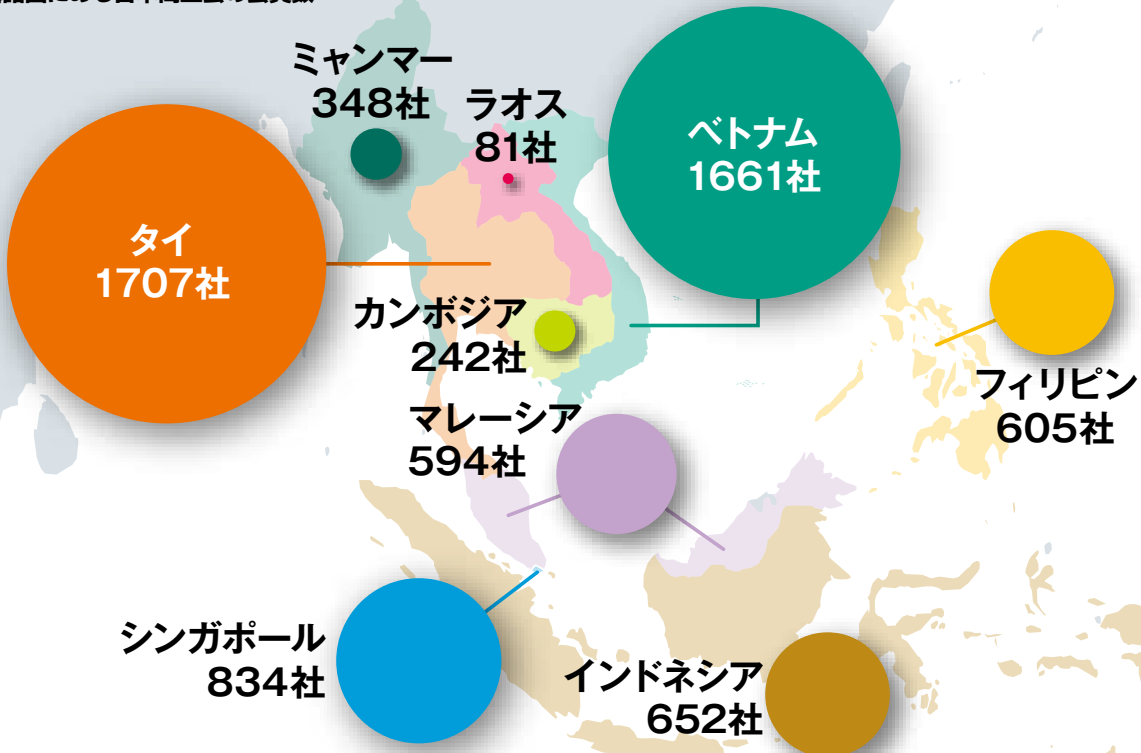


■日本を訪れたベトナム人の人数推移



出典：日本政府観光局 (JNTO)

■近隣諸国にある日本商工会の会員数



*日本商工会に相当する組織は国によって名称が異なります。各組織のウェブサイトなどで公表されている最新の数値を参照しました。

2016年度・委員会別活動報告

■事業環境委員会

委員長：中川 幹久（長島・大野・常松法律事務所）

◆主な活動内容

- 4月 29日 ベトナム首相他閣僚との会合
- 6月 6日 第1回事業環境委員会
- 6月 16日 ホーチミン市人民委員会ITPCとのラウンドテーブルキックオフミーティング
- 7月 4日 JBAH会員向けアンケート送付
- 7月 26日 第2回事業環境委員会
- 8月 17日 日越共同イニシアティブ・WT3（ロジスティック分野の外資規制問題）の事務レベル会合（計画投資省・商工省・運輸省の各省担当者との会合）
- 9月 15日 事業環境委員会・チーム長会議
- 8月 22日 日越共同イニシアティブ・フェーズ6のキックオフ会合
- 10月 26日 ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル
- 12月 5日 Vietnam Business Forum総会
- 12月 14日 ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル（本番）
- 1月 18日 JBAH 会員向け・ラウンドテーブル・フィードバックセミナー
- 3月 8日 JBAH 会員向け・ラウンドテーブル関連会合の議事録の配信

■労働・雇用委員会

委員長：志風 正和（NSSB サイゴンコイルセンター）

◆主な活動内容

- 5月 9日 定例会：年間活動計画・予算・年間スケジュール案、セミナーの進め方
- 7月 12日 定例会：第1回セミナー準備、ワーカー賃金調査内容について
- 8月 3日 セミナー：第1回セミナー開催（ベトナム労働法基礎セミナー）
- 8月 3日 定例会：第1回セミナー総括、第2回セミナーの進め方
- 9月 30日 定例会：第2回セミナー準備、賃金調査の進め方、労働局監査に関する相談、賃金テーブル、自然災害対策基金
- 11月 11日 調査報告：ワーカー賃金調査報告書発行
- 10月 26日 協議：ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル出席
- 11月 16日 セミナー：第2回セミナー開催（ケーススタディー編）
- 2月 17日 セミナー共催：中小企業裾野産業支援委員会セミナー共催
- 3月 10日 定例会：2016年度活動総括、来年度方針につき協議

■金融・税務・通関委員会

委員長：小野瀬 貴久（EY ベトナム）

◆主な活動内容

- 5月 25日 第1回税制委員会：ラウンドテーブル、税制セミナー、個別相談会の実施方法や担当の検討
- 6月 8日 特別セミナー1：ベトナム税務当局ここだけの話（在越日本大使館加藤財務アタッシュエ）
- 9月 27日 通常セミナー：第1回「移転価格税制の基礎」（EYベトナム 本村先生）
- 10月 25日 通常セミナー：第2回「個人所得税の基礎」（GRANT THORNTON 小澤先生）
- 11月 22日 通常セミナー：第3回「付加価値税・外国契約者税」（AGS 鶴田先生）
- 12月 20日 通常セミナー：第4回「個人所得税の基礎」（エスネットワーク 森合先生）
- 2月 15日 ホーチミン市税務局、税関局との対話集会の開催
- 3月 21日 特別セミナー2：1日で総おさらい！ベトナム税制セミナー（応用編）（本村先生、小澤先生、鶴田先生、森合先生）
- 3月 21日 第2回税制委員会：今期の活動の反省及び来期への申し送り事項の検討

*ラウンドテーブルに関し、事業環境委員会と連携し税務、通関を担当

■生活環境委員会

委員長：安立 光孝（アルソックベトナム）

◆主な活動内容

●在留邦人のための生活環境セミナーの実施（計2回）

- 7月 1日 第1回セミナー「知っておいて損なし！ベトナムの空気環境の現状とは！」「自分の身は自分で守る。ベトナムの環境衛生と感染症予防」
- 10月 31日 第2回セミナー（在ホーチミン日本国総領事館・JBAH 共催）＜空気環境の専門家が語る！＞「今懸念されるリスクについて～ベトナムの空気環境および感染症（ジカ熱等）の現状と対策～」「PM2.5をはじめとする大気汚染の健康影響とその対策」

●生活環境メールマガジン「ベトナム生活虎の巻シリーズ」の発行（計5号）

- 第1号 7月 4日 「意外と知らない「水の常識」 ホーチミンの水に関するすべての疑問にお答えします！」
- 第2号 8月 10日 「ホーチミンの水は、どのように作られているのか？浄水場を見学してきました」
- 第3号 10月24日 「ベトナムには救急車がないって本当？ 緊急医療対策はできていますか？」
- 第4号 1月 6日 「職場と生活の安全について、もう一度、考えてみませんか？」
- 第5号 3月 28日 「ちょっとした情報やコツを知っていると、旅行が何倍にも楽しくなります」

*ラウンドテーブルに関し、事業環境委員会と連携し生活環境面を担当

■渉外・VBF委員会

委員長：高野 正秀（ベトナム住友商事）

◆主な活動内容

- 5月 13日 第1回渉外・VBF委員会
- 6月 20日 ASEAN日本人商工会議所連合会・総会に参加（於：ジャカルタ）
- 7月 20日 第2回渉外・VBF委員会
- 10月 13日～15日 中国広州及び中越国境視察を施行、20名が参加
- 12月 5日 VBF年次総会参加（於：ハノイ）
- 3月 27日 第3回渉外・VBF委員会

■組織・規約委員会

委員長：門脇 恵一（ベトナム三菱商事）

◆主な活動内容

●商工会名称変更に関して

1. 他国事例情報収集：他国での日本商工会の名称・活動、ベトナムでの第三国商工会の名称・活動を調査（16年4月～9月）。
2. JBAVとの協議：JBAV組織・規約特別委員会と数次に渡りTV会議、面談。（16年8月～17年3月）。
3. ホーチミン市人民委員会商工局との打合せ（17年1月）。
4. 総会経緯：17年4月21日の総会承認に向けた会則変更の具体案作成（17年3月）。

●事務局体制強化

1. 事務局体制強化（増員）に向けた収支シミュレーション実施（16年9月）
2. 伊藤次長新規採用（16年10月）
3. 事務局による部会への広報支援策定（17年3月）

●アンケート実施

「2016年度商工会活動に関するアンケート」実施（17年1月）。集計・結果発表（17年3月）。

JBAHには、「事業環境改善」「社会貢献」など、それぞれ異なるテーマを持つ11の実行委員会が活動しています。委員会は、委員長、1名以上の副委員長と複数の委員によって構成されています。委員会への参加は任意で、また所属部会には関係なく、希望する委員会に入ることができます。JBAHの活動目的である事業および生活環境の改善を推進するのが、これらの委員会です。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

■広報委員会

委員長：塩 裕之（豊田通商ベトナム）

◆主な活動内容

1. 会員登録メールアドレス見直し、再登録
2. マンスリーレポート創刊(2016年6月1日開始)。毎月1日12:00配信
3. フェイスブック活用拡大。各委員会の特定メンバーに投稿権限を与え、投稿数UP、認知UPをトライした
4. ポスター作成によるラウンドテーブルの認知向上
5. スケッチ企画「サイゴンのオフな面々」協力
6. ローカルメディアとの懇親会実施
7. 年会報「メコンの風」の制作・発行
8. JBAHの活動を紹介するベトナム語のテレビ番組作成・放映済み
*5月16日、10月11日、2月10日、4月3日の計4回の委員会を開催

■中小企業・裾野産業支援委員会

委員長：渡邊 豊（TOWA INDUSTRIAL VIETNAM）

◆主な活動内容

- 5月 27日 セミナー：第1回「ベトナム（ホーチミン）での”ビジネス”と”接待”の秘訣を伝授します！」特別講師：安栖宏隆氏（JETRO ホーチミン事務所所長）
- 6月 27日 セミナー：第2回「私が感じたベトナム人のメンタリティーと、その付き合い方お話しします」講師：三宅妙子氏（在ホーチミン日本国総領事館・領事）
- 9月 21日 セミナー：第3回「日本人駐在員が必ず知っておくべきベトナムの現代史Ⅰーベトナム戦争開戦から今日まで」講師：グエン・トリ・ユン氏（NICD Co., Ltd.）
- 11月 17日 セミナー：第4回「ビックリする追徴のメカニズムとその時の心構えー経営者目線からー」講師：渡邊豊・委員長、協力：實原享之・副委員長（IGLOCAL）
- 2月 17日 セミナー：第5回・第1部「ホーチミンでの接待のためのワイン講座」講師：渡邊豊・委員長、第2部「知っているようで知らなかったベトナム生情報」講師：大林功・事務局長
- 3月 3日 セミナー：第6回「ホーチミンでの部品調達及び部品仕入れ先拡大のための重要な戦略的情報」講師：栗原善孝委員（JETRO ホーチミン事務所）
- 3月 9日 セミナー：第7回・第1部「日本人駐在員が必ず知っておくべきベトナムの現代史Ⅱ」講師：JBAH 副会長・坂上勉氏（丸紅ベトナム）、浅井崇氏 氏（IVS CO., LTD.）、第2部「残留日本兵と残されたベトナム人家族」講師：小松みゆき氏（ベトナムの声放送局・シニアアドバイザー）

■日本人学校運営委員会

委員長：館入 博則（双日ベトナム）

◆主な活動内容

- 新体育館・新校舎の竣工
新体育館（第2体育館）は2月に着工し10月初めに竣工。新校舎建設は4月に着工、2017年1月末に計画通りに竣工した。2月17日に新校舎竣工式・祝賀会を開催。
- 校有地・借地料免除に関してホーチミン人民委員会と継続的な折衝。
- 委員会
5月12日 第1回委員会：H28年度活動、及び、予算計画の承認、他
7月14日 第2回委員会：新体育館、増築校舎の仕様変更、銀行借入に関する承認、他
9月15日 第3回委員会：新体育館、増築工事の仕様変更の承認、及び、2012～2016年土地借地料の追加借料請求にかする報告・協議、他
11月17日 第4回委員会：増築校舎の仕様変更、及び規約・規則改正の承認、他
1月25日 第5回委員会：予算執行状況、為替レート変更の承認、及び、警備員の増員協議、他
2月23日 第6回委員会：29年度教員人事、年間行事の承認、他

■社会貢献委員会

委員長：今井 裕彦（三井住友銀行）

◆主な活動内容

- 8月 上旬 JBAHジャパンカップスポンサー告知開始（個別往訪開始）
- 9月 25日 JBAHジャパンカップ当日
- 10月 1日 日本語教師育成プロジェクト（第1弾）開始
- 10月 4日 BJT試験対策講座スタート
- 10月 30日 児童養護施設（Que Huong Chaiy Center）慰問（第1弾）
- 11月 19日 老人福祉施設（Lam Quang寺）慰問
- 11月 20日 日本語教師育成プロジェクト（第1弾）終講、同日（BJT試験日）
- 12月 18日 ロンアン省の橋（915村）現地視察
- 1月 6日 JBAH新年会（日本語教師育成PJ参加者を招待）
- 1月 14日 日本語教師育成プロジェクト（第2弾）開始
- 1月 19日 BJT成績優秀者表彰（@領事公邸）
- 1月 22日 児童養護施設（Que Huong Chaiy Center）慰問（第2弾）
- 2月 11日 ロンアンの橋（915村）の開通式
- 3月 6日 サッカーボール寄贈式
- 4月 1日 日本語教師育成プロジェクト（第2弾）終講
- 4月 5日 浄水器寄贈式

■スポーツ・文化委員会

委員長：竹林 義孝（王子テックス（ベトナム））

◆主な活動内容

- イベント開催
9月 25日 第33回JBAHジャパンカップ2016（ゴルフ大会）
11月 19日
～20日 日越交流ほんおどり大会
12月 11日 The 1st JBAHマラソン
1月 6日 ホーチミン日本商工会新年会
3月 5日 第21回JBAH主催全越オープンテニス大会
- 委員会
合計9回開催

*文中の肩書・役職はすべて当時のものです。

2016年度・部会別活動報告

商工会活動の基本となるのが「部会」です。部会は、業務内容および地域で分かれており、現在、JBAHには13の部会があります。それぞれの部会に含まれる業種・地域については右ページの表をご覧ください。なお正会員は希望すれば、準部会員として、もう一つ別の部会に所属することができます。ただし準部会員は、その部会における議決権、選挙権、被選挙権は有しません。「準部会員」は「準会員」とは異なりますのでご注意ください。

各部会は、部会長、副部会長に数名の理事を加えた役員によって運営されています。いずれの場合も、活動の基本となるのは「部会会合」で、おおむね1～2カ月に1回、開催されています。これに加え、所属する会員企業のニーズに合わせ、工場見学会や勉強会、親睦を深めるための新年会やゴルフなど、それぞれ特色のある活動を行っています。

貿易部会

セミナーとゴルフコンペで 会員企業間の情報交換を促進。

部会長：富士 浩一(ベトナム三井物産)

本部会は、総合商社・専門商社・メーカー系商社を中心に構成されています。2016年度は多彩な講師をお招きし2部構成のセミナーを合計4回実施。テーマは、人事・総務の課題や事例、輸出入・物流の問題点、税制・税務のupdateといった実践的な題目から、お奨めの社員旅行・個人旅行、「ここがへんだよ、日系企業・日本人」、優秀人材の確保と育成といった、会社生活密着型の情報まで幅広い内容としました。部会の後に行う懇親会も平均50名以上が参加、幅の広い情報交換の場となりました。合計3回開催した懇親ゴルフコンペは平均36人の参加を得て開催、チャリティーを通じて小さな社会貢献に繋がりました。



セミナー風景。2部構成として第1部は業務に直結する話題、第2部は楽しみながら聞ける身近な話題を中心に構成しました。(2017年3月22日)

建設部会

部会への参加者は1.5倍増。 会社情報ファイルで交流促進。

部会長：清水 靖裕(清水建設)

本部会は会員数が100社超と、お互いの顔が見えにくい規模になってきました。そこで各社の業務内容が分かる「会社情報ファイル」を部会員に配布して、相互交流に役立ててもらおうにしました。直接話ができる場も数多く持てるよう、部会を7回、チャリティーゴルフコンペは6回開催しています。9月22日に行ったホーチミン都市鉄道1号線オペラハウス駅の現場見学会は、「地下鉄現場を直接この目で見て感激した」など好評でした。また勉強会「E&Y 小野瀬先生による“改めて解決！レッドインボイスの仕組みと謎”」にも37人という多数の参加者がありました。



ホーチミン地下鉄工事現場見学会にて。(2016年9月22日)

部会名称	業種区分・地域区分
貿易部会	貿易、商業
建設部会	建設、建材関連
運輸部会	陸海空運、倉庫運輸関連
第一サービス部会	コンサル、人材派遣、広告、流通小売、内装、教育等
第二サービス部会	旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備等
IT部会	情報通信、ITソフトウェア開発
金融・保険部会	金融保険、不動産ファイナンス
(製造業)	
タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地及びリンチュン工業団地入居製造業等
ホーチミン市部会	上記以外ホーチミン市及びその他地域に所在する製造業等
ビンズン部会	ビンズン省に所在する製造業等
ドンナイ部会	ドンナイ省に所在する製造業等
ロンアン部会	ロンアン省に所在する製造業等
バリアブントウ部会	バリアブントウ省に所在する製造業等

運輸部会

ベトナム南部カイメップチーバイ港 視察ツアーを開催。

部会長：島崎 順二(佐川急便ベトナム)

本年度も定例会部会を隔月で計6回、チャリティゴルフコンペを3ヶ月に1回の頻度で計4回開催しました。これらのイベントへの参加人数は増加しており、会員企業の懇親を深められる有意義な活動ができたと感じています。

10月には、カイメップチーバイ港のターミナル(TCIT)の物流視察ツアーを実施しました。22名に参加いただき、(1)ターミナルや港湾関係のプレゼンテーション、(2)コントロール・ルームの視察、(3)ターミナル内の見学の3つを行いました。

また2回開催した勉強会も会員企業から非常に好評。その他、1月に新年会を開催し45名が参加しました。



カイメップチーバイ港の視察。(2016年10月22日)

第一サービス部会

部会を交流と学びの場とするべく、 多彩な内容の講演会を6回実施。

部会長：江塚 光広(弘垂社ベトナム)

今年度100社以上(準部会含む)となった当部会は、多岐にわたる職種が集まる部会であり、今年も5つの班に分けて活動を実施しました。

今年は6回すべての部会において、テーマの異なる講演会を実施することができました。消費動向、不動産事情、人材事情、人工知能が未来にもたらす影響、企業内の不正対策、経営者が直面する悩みなど、多彩な内容で好評でした。そのうち2回は第二サービス部会との合同開催として実施することができ、この合同企画も今後定例化できればと考えています。通常の部会へは40～50名、合同部会は100名近くと、共に積極的な参加がありました。



今話題の“AI(人工知能)”がもたらすサービス産業の未来について、IGS本社社長・福原様よりご講演いただきました。(2017年1月20日)



第二サービス部会との合同開催した部会。
(2016年9月21日開催「ベトナム不動産事情」)

第二サービス部会

部会員のセミナー開催による 会員の相互理解と活動の活性化。

部会長: 小山 晃司(東京急行電鉄・ホーチミン市駐在事務所)

2016年度は部会員同士の相互理解を目標に、5回の部会&懇親会を開催いたしました。第一サービス部会との合同部会も開催し、他部会員との交流も生まれました。様々な業種が集まる部会なので、部会では、テーマを決めたセミナーも開催しました。毎回非常に興味深い内容で、業界の裏話も聞け、アンケートでは「このような企画は継続して欲しい」と大変好評でした。部会&懇親会の参加率は約50%で、毎回約30人超の方々にご参加いただきました。

その他の活動として、毎年恒例のチャリティゴルフは、第一サービス部会、金融・保険部会と合同で4回開催しました。



第一サービス部会との合同部会で行った「賢いマンションの選び方教えます」セミナーには89名が参加しました。(2016年9月21日)

IT部会

共通課題対策のヒントを共有、 部会後には毎回懇親会を実施。

部会長: 沼倉 靖(NECベトナム)

活動の柱である部会は合計6回実施し、平均30名以上が参加しています。部会の中では理事会からの報告を行い、部会後には、昨年同様、毎回懇親の場を設けました。良い交流の機会になったと思います。7月の部会では「個人保護法について」、11月の部会では「VATに関する素朴な疑問とアップデート」というテーマで、勉強会を実施。更に労務環境アンケート調査では各社共通課題に対する意見交換も行い、ヒントを共有しました。

親睦活動としては、2回のチャリティゴルフに加え、昨年度好評であったボーリング大会を今年も1回実施しています。これにより幅広い会員も取り込むことができました。



部会後にBBQガーデン行われた懇親会。本年度の懇親会は「肉」が多かったです。(2016年9月19日)

金融・保険部会

会員のアンケートを元に 活動内容を決定・実践。

部会長: 渡辺 武(United Insurance Company of Vietnam)

2016年度は会員からのアンケートを元に活動内容を決定いたしました。金融・保険部会では過去に行っていなかった「ホーチミンで成功している日系企業の工場視察」はアンケートの上位にあった活動です。また、昨年開始した「セミナープール」を継続実施し、他部会への講師派遣を行ってきました。

定例部会は計6回開催し、平均17名余の方々にご参加いただきました。ゴルフコンペは昨年同様、第一・第二サービス部会との合同コンペを4回実施しております。上記以外にも、9月、1月、3月に懇親会を開催し部会内の親睦を深めました。



VIETNAM NOK様工場視察
(2016年12月13日)



SAPPORO VIETNAM様工場視察
(2016年7月18日)

タントアン・リンチュン部会

理事会にて報告される商工会の 活動内容を可能な限り共有する。

部会長：太田 直樹(NISSEI ELECTRIC VIETNAM)

2016年度も活動の中心になったのは2か月に1回、合計6回開催した定例部会です。中古機械の輸入規制問題、残業規制、社会保険や健康保険の加入問題などが議論の中心となりました。定例理事・幹事会は年間3回開催され、部会運営等について話し合いました。議題の一つとして「チャリティーゴルフコンペ」が上がり、より参加しやすくなるよう、運営を見直すことができました。

11月30日には、「GS バッテリーベトナム」様の協力を得て、工場見学会も実施しました。その他、部会内の懇親を深めるための活動としては、親善チャリティーゴルフコンペを4回開催。12月14日には忘年会も開催されました。



「GS バッテリーベトナム」様の工場見学会。16社22名の参加者が集まり異業種の生産プロセスを勉強することができました。(2016年11月30日)

ホーチミン市部会

部会を通して情報の共有と 構成企業間の情報交換

部会長：瀬川 剛志(三菱電機ベトナム)

ホーチミン市部会は、部会再編により新設された部会であり、新たなメンバーでの一体感醸成を心がけて1年間の活動を行いました。所属会員数が多く、かつ業種も多岐に渡り、所在地も広範囲です。そのため共通の課題形成という点では苦労することもありましたが、異業種間での事業内容、各社制度、それらの課題等の情報交換や地域情報の共有を行えたという点で手応えを感じています。定例部会+懇親会を5回、チャリティー懇親ゴルフコンペは4回開催し、それぞれ毎回30～40名ほどのご参加を頂きました。その他様々なテーマのセミナー、エースコックベトナム様の工場見学ツアーも実施し、部会員からは好評でした。



第4回チャリティー懇親ゴルフコンペ (2017年3月12日)

エースコックベトナム様の前で瀬川部会長と吉良副部会長。工場見学会には多くの参加があり好評でした。(2017年3月17日)



ビンズン部会

「会員の会員による会員のための 部会活動」をモットーに

部会長：山本 和人(大成美術印刷ベトナム)

定例部会は2か月に1回開催しています。はじめに委員会活動の状況など理事会の報告を行います。重要な内容は時間を取って説明します。領事館、JETRO、事務局からの連絡も多くの情報が含まれていますのでお知らせします。部会活動の基本はこの事から始まると考えています。

2016年度は、ビンズン省と日系企業の接点の場を多く作ってきました。税関局や人民委員会の対話集会、企業の表敬訪問、通関問題の協議会等。お互いに顔を合わせることで理解が一層深まると考えるからです。企業が担当者任せにし過ぎる事が問題解決を遅くし、解決し辛くなっている事を、より多くの会員が認識できるよう努めています。



ビンズン部会とロンアン部会合同で開催した、中嶋総領事との意見交換会。部会同士の連携を強化したいと考えています。(2016年9月22日)

部会別報告

ドンナイ部会

部会再編後の情報共有徹底と、
行政との対話を通じた課題解決

部会長:本宮 章(富士通コンピュータプロダクツオペトナム)

今年度は部会の再編があり、一挙に会員数が3割増加しました。これを考慮し、部会、懇親ゴルフコンペ(各々3回開催)への積極的な参加を呼びかけました。毎回60~80名が参加し、交流を深める良い場となりました。

一方、ドンナイ省では5年ぶりの体制刷新があり、既存の進出企業、特に日系企業への課題解決姿勢が強まりました。人民委員会とは6月の対話集会を契機に、会員企業から多くの課題を吸い上げ、対話による解決を推進。またEPE企業への監視カメラ導入の是非、自然災害基金の従業員からの企業による徴収義務等について提案を行い、前向きな回答をいただくことができました。



ドンナイ省人民委員会及び行政局との意見交換会。(2016年6月10日)

ロンアン部会

コンパクトながら活動的な部会で、
様々なイベントで活発な交流実現。

部会長:正脇 幹生(サッポロベトナム)

2016年度からスタートしたロンアン部会は、部会員が20社とコンパクトな部会ですが、定期部会への参加率は高く、とても活動的な部会です。6回の定期部会をはじめ、チャリティゴルフコンペなどの親睦イベントや、ロンアン省人民委員会および税関局との意見交換会も定期的にも実施することも出来、とても充実した一年でした。

また、部会のタイミングにあわせて、9月にはビール工場での夏祭り、12月にはキャンティーン巡りなどのイベントを開催し、部会員の交流を活発に行いました。

今後も、他部会との連携イベントやセミナーの開催など、積極的な活動を目指します。



サッポロビール工場での夏祭りには、約40名が出席。ELT様からUS BEEFの提供もあり、大盛り上がり。(2016年9月23日)

バリアブンタウ部会

小部会故の密接なネットワーク
地域固有の課題共有と解決支援

部会長:野田 庸一(AGCケミカルズ・ベトナム)

バリアブンタウ部会は、JBAHの中で最小の部会(2017年3月末現在、部会員8社・準部会員2社・準会員1社、計11社)として本年度新設されました。少数が故にかえって密接なコミュニケーションがとりやすく、全会員が一つになって地域固有の課題に取り組んでいます。年2回の人民委員会意見交換会(ラウンドテーブル)を本年も実施し、迅速な課題解決だけでなく地方政府との良好な関係作りを行ってきました。部会会合・懇親会は4半期毎に開催し、その他懇親ゴルフ会も2回開催しました。部会員各社の密接かつ良好な関係に基づき、オフサイトの情報交換や意見交換も活発に行われました。



バリアブンタウ省人民委員会にて行われた人民委員会との意見交換会。(2016年9月8日)

特別企画 ある日の 大林功事務局長

ホーチミン日本商工会JBAHの事務局長は、900社におよぶ会員企業の事業運営、そしてそこに働く社員の生活にとって、まさに「扇の要」のような存在です。当地で活動している日本企業が何か困っていることがあれば相談にのり、日本からベトナムへの進出を検討している企業が訪問すれば現地情報を提供、会長と共に人民委員会や各種行政機関との会談にも参加します。

JBAHの事務局長は、商工会議所の運営に関する専門的な知識と経験が必要とされるため、大阪商工会議所から派遣して頂いています。2017年4月、4年間の任期を満了して帰任される大林事務局長の一日を追いました。

▶ 6:30 起床

スクールバスに乗って登校する息子（5歳）を見送るために、眠たい目をこすりつつ起床。その後は二度寝。7時半に起きて朝食をとる。ミックスジュースやクッキーなど、軽い内容で済ませることが多い。8時、自宅を出発。



▶ 8:30

JBAHのオフィスがあるサンワタワーに到着。出社はいつも手ぶらだ。3歳の娘が毎朝かけてくれる「パパいつも帰るの遅いから先寝てるね。早く帰ってきてね」という言葉を胸の内にしまい、さあ、仕事！



▶ 08:35

出社すると、近所のカフェのお姉さんにカフェスアダー（アイスミルクコーヒー）を注文して、オフィスに届けてもらうのが朝の儀式。

▼ 08:40

一週間のスケジュールをスタッフ間で共有・確認する。



▼ 14:00

急遽、アポなしで来客が……。名刺交換・挨拶のみ。「アポなしで来られるかたも少なくないですね。時間が許す限り、対応するようにしています」。受け取った名刺を入れている引き出しは「すぐにいっぱいになります」とのこと。

▶ 13:00

昼食から戻ると、JETROホーチミン事務所の滝本所長とのミーティング。関係諸機関との会議は多い。

▶ 12:00

打ち合わせを兼ねた昼食「1人で昼食をとることは滅多にないですねえ」。

◀ 09:30 ~

来客との対応。事務局長の仕事は接客業じゃないかと思うほど、毎日、多数の来客の対応をする。午前中だけで2組、3組が入ることも珍しくない。

◀ 09:00

順次、メール受信・返信対応をする。「メールは日本から、ベトナムから、会員企業から、非会員企業から、一日に300通程度は届きますね」。移動中に届くメールにも対応するためスマホは片時も手放せない。



▶ 15:00

ミーティングに向かうためサンワタワーを出たところで、知り合いに呼び止められた。その場で空いている時間帯を確認し、オフィスに来ていただく約束をする。

▶ 16:00

会議や来客がないときは、会議のための資料作成など、4人のスタッフと協力しながら、さまざまな事務をこなす。その間にも、次々と電話が入ってくる。「息つく間もない」とは、まさにこの状態をさすのだろう。

▼ 18:00 会食

夜は会食が入ることが多い。この日は、市内某レストランにてベトナム公安省との意見交換夕食会。

◀ 24:30 就寝

23:30頃、自宅に到着すると、まず子どもたちの寝顔を見て、ほっと一息。それから、読書や勉強をしてから就寝。



◀ 21:00

会食後、ほとんどの場合は自宅ではなく、誰もいないJBAHオフィスに戻る。オフィスを出るのは、だいたい23時頃。



JBAH ニュースフラッシュ

JBAHの活動が、メディアで取り上げられる機会は、年々、増加しています。

紹介して下さる媒体も、日系報道機関、日本語フリーペーパー、ベトナム語の新聞・雑誌、それからテレビ局など、幅が広がっています。事務局では、さまざまなメディアと連携し、JBAHの活動や、会員の皆さんの動きをPRしています。

報道機関

●前野会長がテレビの生放送に出演



◇「ホーチミン市と企業とドイモイ」というテレビ番組に生出演

2016年8月27日にホーチミン市共産党の呼びかけで、テレビ局（VTC8 & HTV8）が「ホーチミン市と企業とドイモイ」という番組を、朝9時から2時間にわたり生放送をしました。JBAHの前野会長も出演者の1人として、ホーチミン市への提案や、ラウンドテーブルを通じた事業改善の取り組みについて、番組中でスピーチを行いました。

●時事速報

FRIDAY 22 April 2016 JJI News Bulletin

【食彩ASIA】
港町ハイフオンの菓子パン=ベトナム 4
株終値、1万7000円回復 17
2か月半ぶり高値=東京市場
マーケット情報
クロスレート 20
アジア通貨レート

日系企業のASEAN進出速報 14

ベトナムトップニュース3
新会長にJFEの前野氏
『全員参加』で活動=ホーチミン日本商工会 3
工業団地、国際仲裁センターに申し立て=ロンアン省のインフラ料問題 3
ジェットスター・パシフィック、通年で初の黒字=事業拡大を計画 3
干ばつ・原油安への対応指し=フック首相、計画投資者に
デング熱ワクチン、ベトナムも認可か 4
不動産会社の外国出資比率が上昇=投資魅力高まり、60%上限も 5

日本最大手の通信社である時事通信社がメールで配信している「時事速報」では、総会の様子をトップ記事で掲載したのに加え、JBAHの活動を紹介しています。

●NNA

JBAH大林氏が解任、投資環境改善に尽力

ホーチミン市共産党の呼びかけで、テレビ局（VTC8 & HTV8）が「ホーチミン市と企業とドイモイ」という番組を、朝9時から2時間にわたり生放送をしました。JBAHの前野会長も出演者の1人として、ホーチミン市への提案や、ラウンドテーブルを通じた事業改善の取り組みについて、番組中でスピーチを行いました。



HCM日本商工会、新会長にJFEの前野氏（続報）

ホーチミン市共産党の呼びかけで、テレビ局（VTC8 & HTV8）が「ホーチミン市と企業とドイモイ」という番組を、朝9時から2時間にわたり生放送をしました。JBAHの前野会長も出演者の1人として、ホーチミン市への提案や、ラウンドテーブルを通じた事業改善の取り組みについて、番組中でスピーチを行いました。

ホーチミン市共産党の呼びかけで、テレビ局（VTC8 & HTV8）が「ホーチミン市と企業とドイモイ」という番組を、朝9時から2時間にわたり生放送をしました。JBAHの前野会長も出演者の1人として、ホーチミン市への提案や、ラウンドテーブルを通じた事業改善の取り組みについて、番組中でスピーチを行いました。

ホーチミン市共産党の呼びかけで、テレビ局（VTC8 & HTV8）が「ホーチミン市と企業とドイモイ」という番組を、朝9時から2時間にわたり生放送をしました。JBAHの前野会長も出演者の1人として、ホーチミン市への提案や、ラウンドテーブルを通じた事業改善の取り組みについて、番組中でスピーチを行いました。



●日本経済新聞・電子版

日本経済新聞のウェブサイト上で、今年初めて開催した「JBAH マラソン」が、海外の日本人コミュニティを活性化させる活動の1つとして、取り上げられました。

■現地日本語媒体

●ピナブー



日本語フリーペーパー「ピナブー」では、JBAH マラソンの様子を見開き2ページで紹介するなど、JBAHの活動を紹介していただきました。

●アクセス



日本語とベトナム語でビジネス情報を発信する日本語フリーペーパー「アクセス」では、ゴルフ大会、児童養護施設の訪問、橋の寄贈セレモニーなどを大きな扱いで取り上げてくれました。

●スケッチ



日本語フリーペーパー「スケッチ」では、「ホーチミン日本商会 presents サイゴンのオプな面々」という連載記事を掲載してくれました。毎月1人、JBAHの会員が登場するという企画で、現在まで8人の多士済済な方々が誌面を飾っています。

■ご協力頂いた主なメディア

●日系報道機関
朝日新聞
NNA
共同通信
時事通信
日本経済新聞
読売新聞

●日系テレビ局
View TV
NHK
新潟テレビ

●日本語フリーペーパー
アクセス
スケッチ
スケッチプロ
ピナブー
ベッター

●非日系
Tui Tre (ベトナム語の新聞)
Thanh Nien (ベトナム語の新聞)
Vietnam News (英字新聞)
Saigon Times (英字新聞)
Vietnam Economis Times (ベトナム語/英語の新聞)
HTV (テレビ)
Vnexpress (ニュースサイト)

事務局
主要活動
実績表

◆4月		▼開催場所
4月 4日	中嶋総領事表敬訪問	総領事館
4月 5日	ビナキョウエイスチールからのチャリティー受領	JBAH
4月 6日	日本人学校大矢校長先生表敬訪問及び学校見学	日本人学校
4月 7日	広報委員会	JBAH
4月 8日	深田大使表敬訪問	大使公邸
4月 8日	JETROハノイ事務所川田所長表敬訪問	JETROハノイ事務所
4月 8日	JICAハノイ事務所藤田所長表敬訪問	JICAハノイ事務所
4月 8日	Japan Foundation図書室等施設視察	Japan Foundation
4月 8日	プロミネントベトナムからのチャリティー受領	JBAH
4月 12日	Vietnam Business Forum打合せ	JBAH
4月 13日	日本人学校入学式	日本人学校
4月 14日	J会合	総領事館
4月 15日	日越共同イニシアティブ打合せ	JBAH
4月 15日	JBAH新日合同執行役員会	JBAH
4月 15日	JBAH執行役員会懇親会	牛和鹿
4月 19日	海外展開協議会	JETRO
4月 19日	前野会長NNAインタビュー	JBAH
4月 21日	JBAH定期総会	ホテルレバリーサイゴン
4月 21日	JBAH理事会	ホテルレバリーサイゴン
4月 22日	ディン・ラ・タン ホーチミン市共産党書記長表敬訪問	ホーチミン市共産党事務所
4月 25日	大阪府八尾市長との意見交換会	JBAH
4月 26日	ベトナムカネコ開所式	ドンナイ省同社工場
4月 27日	関西経済連合会国際部小林部長との意見交換会	JBAH
4月 29日	フック首相への要望	統一会堂

◆5月		▼開催場所
5月 6日	生活環境委員会	JBAH
5月 7日	タイニン省視察・タイニン省人民委員会意見交換会	タイニン省
5月 12日	日本人学校運営委員会・懇親会	双日ベトナム
5月 16日	広報委員会	JBAH
5月 19日	王子テックス(ベトナム)新工場竣工式	王子テックスビズン新工場
5月 20日	JBAH・JBAV南北日本商工会連携会合・懇親会	ハノイ
5月 20日	社会貢献委員会	三井住友銀行
5月 21日	JBAH・JBAV南北日本商工会懇親ゴルフコンペ	ハノイ
5月 23日	JBAH執行役員会	JBAH
5月 23日	TPP協定における繊維分野の合意に関する説明会	ロイヤルホテル
5月 24日	ロンアン部会	JBAH/SAMURAI BBQ
5月 26日	JBAH理事会	JETRO
5月 27日	ドンナイ省人民委員会表敬訪問	ドンナイ省人民委員会庁舎
5月 27日	中小企業・裾野企業支援委員会主催セミナー	サイゴンホテル
5月 30日	ホーチミン市人民委員会表敬訪問	ホーチミン市人民委員会庁舎
5月 30日	ホーチミン市スポーツ・文化局との意見交換会	ホーチミン市スポーツ・文化局
5月 31日	JBAV田中サービス等部会長との意見交換会	JBAH
5月 31日	ジャパンフェスティバル事務局菊池氏との意見交換会	CLSベトナム
5月 31日	タントアン・リンチュン部会	タントアン

◆6月		▼開催場所
6月 1日	第一サービス部会	さくらまつり
6月 2日	Jリーグ横浜FC北川社長との意見交換会	JBAH
6月 2日	貿易部会長・副部会長との意見交換会	AU LAC
6月 2日	建設部会	ニューワールドホテル
6月 3日	中嶋総領事と執行役員との意見交換夕食会	総領事公邸
6月 3日	国際交流基金日本語パートナーズ事業報告会	VJCC
6月 6日	前野会長VIEW TVインタビュー	JFEスチールベトナム
6月 6日	事業環境委員会	JBAH
6月 6日	西京銀行頭取ミッション向けレクチャー	JBAH
6月 7日	スポーツ・文化委員会	JBAH
6月 8日	金融・税務・通関委員会主催セミナー	ロイヤルホテル
6月 10日	ドンナイ省人民委員会との意見交換会およびドンナイ税関局との協力覚書締結式	ドンナイ税関局
6月 13日	JBAH執行役員会	JBAH
6月 14日	東京商工会議所ミッション団との意見交換会	JBAH
6月 15日	7区スポーツ体育センター長との意見交換会	ホーチミン市7区スポーツ体育センター
6月 15日	ビズン省人民委員会リエム委員長表敬訪問	ビズン省人民委員会
6月 15日	中小企業・裾野産業支援委員会	JBAH
6月 15日	貿易部会	JETRO
6月 17日	J会合	総領事館
6月 17日	社会貢献委員会	三井住友銀行
6月 19日	ASEAN日本人商工会議所連合会事務局長会議	ジャカルタ
6月 20日	ASEAN日本人商工会議所連合会総会・ミン事務総長との対話会合	ジャカルタ
6月 27日	中小企業・裾野産業委員会 第2回学習会	ロイヤルホテル
6月 28日	スポーツ・文化委員会	JBAH
6月 28日	川崎市産業振興財団曾禰理事長との意見交換会	JBAH
6月 30日	RIKEN VIETNAM 工場竣工式	RIKEN VIETNAM

◆7月

▼開催場所

7月 1日	AGCケミカルズ社名変更パーティー	ホテルニッコーサイゴン
7月 1日	生活環境委員会主催セミナー	ホテルニッコーサイゴン
7月 6日	西村あさひ法律事務所6周年レセプション	パークハイアットサイゴン
7月 6日	ビナキョウエイスチール社へのチャリティー感謝状授与	ビナキョウエイスチール
7月 8日	Phan Vu社20周年記念式典	ホワイトパレス
7月 12日	プロミネントベトナム社へのチャリティー感謝状授与	プロミネントベトナム
7月 12日	労働・雇用委員会	JBAH
7月 13日	イオンモールピンタンオープニングセレモニー	イオンモールピンタン
7月 14日	日本人学校運営委員会	双日ベトナム
7月 14日	読売新聞バンコク支局からのヒアリング	JBAH
7月 18日	JBAH執行役員会	JBAH
7月 19日	テレビ東京との意見交換会	JBAH
7月 20日	愛知県森岡副知事との意見交換会	JBAH
7月 21日	CLKベトナム竣工式	ピンズン省同社
7月 21日	JBAH理事会	JETRO
7月 21日	バリアブントウ部会・ドンナイ部会理事と中嶋総領事との意見交換夕食会	総領事公邸
7月 22日	金融・保険部会	JETRO
7月 22日	福岡銀行開所式	ホテルニッコーサイゴン
7月 23日	前田ベトナム・ロンタングループ合併記念式典	ホテルレバリーサイゴン
7月 25日	金融・税務・通関委員会	JBAH
7月 26日	事業環境委員会	JBAH
7月 26日	武部勤ジャパンベトナムフェスティバル実行委員会委員長との意見交換会	JBAH
7月 28日	東京製綱ベトナム10周年記念式典	ピンズン省同社
7月 28日	社会貢献委員会	三井住友銀行
7月 28日	久原本家ベトナムオープニングセレモニー	ニューワールドホテル
7月 30日	ベトナム高島屋開業式典	ニューワールドホテル

◆8月

▼開催場所

8月 1日	両備ホールディングス倉庫竣工式	ホーチミン市9区同社
8月 3日	労働・雇用委員会セミナー	ロイヤルホテル
8月 3日	蝶理ベトナム開業式	ニューワールドホテル
8月 5日	大林事務局長による香港日本人商工会議所での講演	香港日本人商工会議所
8月 6日	ASEAN+2地域 日本人会事務局長会議	香港日本人倶楽部
8月 10日	バリアブントウ省投資セミナー	統一会堂
8月 14日	JBAH執行役員会	JBAH
8月 22日	J会合	総領事館
8月 22日	日越共同イニシアティブフェーズ6キックオフ会合	計画投資省
8月 24日	経団連ベトナムミッション団との懇親夕食会	レックスホテル
8月 25日	JBAV柳井会長との意見交換会	JFEスチールベトナム
8月 25日	ホーチミン市人民委員会フォン委員長との面談	ホーチミン市人民委員会
8月 25日	長崎県立大学経営学部国際経営学科向けレクチャー	JBAH
8月 25日	社会貢献委員会	三井住友銀行
8月 27日	ホーチミン市幹部との対話会合(全国TV生放送)	共産党会議場
8月 29日	歴代会長ボード設置	JBAH
8月 30日	スポーツ・文化委員会	JBAH
8月 30日	越日工業大学ホアン学長との意見交換会	JBAH
8月 31日	ロンアン省人民委員会との意見交換会	ロンアン省人民委員会

◆9月

▼開催場所

9月 6日	生活環境委員会	JBAH
9月 7日	ジャパンベトナムフェスティバル武部実行委員長との打ち合わせ	JBAH
9月 7日	兵庫県立大学経営学部向けレクチャー	JBAH
9月 7日	ジャパンベトナムフェスティバル武部実行委員長との夕食会	総領事公邸
9月 8日	バリアブントウ省人民委員会との意見交換会	バリアブントウ省人民委員会
9月 9日	中小企業・裾野産業委員会	JBAH
9月 9日	BIDVセミナー	ロッテレジェンドホテル
9月 12日	JBAH執行役員会	JBAH
9月 14日	VVIP20周年記念式典	ピンズンニューシティ
9月 15日	経団連ベトナムミッション団と総領事館との昼食懇談会	総領事公邸
9月 15日	日本人学校運営委員会	双日ベトナム
9月 15日	JBAH理事会	JETRO
9月 16日	名張商工会議所会頭ミッションとの懇親夕食会	Ly Club
9月 16日	九州経済産業局との意見交換会	JBAH
9月 19日	深田大使送別会	ホテルニッコーサイゴン
9月 21日	中小企業・裾野産業支援委員会主催セミナー	パレスホテル
9月 21日	第一・第二サービス部会 合同部会	ニューワールドホテル
9月 22日	中嶋総領事とJBAHピンズン部会、ロンアン部会理事との意見交換夕食会	総領事公邸
9月 23日	ピンズン省人民委員会との対話会合	ラッキースクエア
9月 23日	ロンアン部会夏祭り	サッポロロンアン工場
9月 25日	JBAHジャパンカップゴルフコンペ	タンソンニャットゴルフ
9月 26日	VBF打ち合わせ	JBAH
9月 27日	金融・税務・通関委員会ベトナム税制セミナー	パレスホテル
9月 27日	生活環境委員会	JBAH
9月 28日	ホーチミン市ITPCとの意見交換会	ITPC
9月 28日	社会貢献委員会	三井住友銀行
9月 29日	ジャパンベトナムフェスティバル実行委員会との意見交換会	JBAH

事務局
主要活動
実績表

◆10月 ▼開催場所

10月	1日	ASEAN日本商工会議所事務所局長会議	マニラ
10月	2日	日本人学校運動会	日本人学校
10月	5日	日立ソーシャルイノベーションフォーラム	シェラトンサイゴンホテル
10月	5日	Jリーグ・水戸ホーリーホック沼田社長との意見交換会	JBAH
10月	5日	公益財団法人大阪産業振興機構との情報交換会	マジェスティックホテル
10月	7日	東京都との意見交換会	JBAH
10月	11日	SMC-TOAMI Limited Liability Company新工場開所式	同社工場
10月	11日	広報委員会	JBAH
10月	12日	時事通信 前野会長インタビュー	JBAH
10月	12日	新潟総合テレビASEAN支局開設記念レセプション	ホテルニッコーサイゴン
10月	13日		
	～15日	渉外・VBF委員会広州視察団	広州・南寧
10月	17日	VJCC経営塾 開講式	VJCC
10月	17日	J会合	総領事館
10月	17日	JBAH執行役員会	JBAH
10月	18日	JBAH・OVTA共催海外赴任者支援セミナー	JETRO
10月	19日	中嶋総領事とJBAH金融・保険部会、IT部会理事との意見交換夕食会	総領事公邸
10月	20日	JBAH理事会	JETRO会議室
10月	25日	長野県知事との夕食会	総領事公邸
10月	25日	金融・税務・通関委員会ベトナム税制セミナー	パレスホテル
10月	26日	ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル(生活環境・法務労務)	ITPC
10月	27日	ジャパンベトナムフェスティバル武部勉実行委員長との打ち合わせ	JBAH
10月	27日	ジャパンベトナムフェスティバル武部勉実行委員長との公邸夕食会	総領事公邸
10月	27日	ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル(税務・税関)	ITPC
10月	28日	MPロジスティックス日本オフィス開設記念レセプション	パークハイアット
10月	31日	生活環境委員会第2回セミナー	ホテルニッコーサイゴン

◆11月 ▼開催場所

11月	2日	富田薬品本社社長との面談	JBAH
11月	2日	第二サービス部会、懇親会	ルネッサンスリバーサイドホテル
11月	2日	スポーツ・文化委員会	JBAH
11月	2日	マラソン大会、盆踊り大会打ち合わせ	JBAH
11月	3日	広報委員会ベトナムプレスとの打ち合わせ	ロッテレジデントホテル
11月	5日	日越交流ほんおどり練習会	フートースタジアム
11月	6日	日本人学校ホーチミン祭	日本人学校
11月	7日	JBAH執行役員会	JBAH
11月	8日	富士CAC社オープニングセレモニー	ソフィテルサイゴンプラザホテル
11月	9日	関西アジア環境省エネビジネス推進フォーラム	HCMC7区
11月	10日	関西経済同友会との交流夕食会	マンダリン
11月	10日	JBAH理事会	JETRO
11月	10日	労働・雇用委員会	JBAH
11月	11日	CEOクラブ11周年記念セミナー	パークハイアット
11月	15日	佐川急便ベトナム倉庫竣工記念式典	ドンナイ省同社倉庫
11月	16日	中嶋総領事とJBAH第一、第二サービス部会理事との意見交換夕食会	総領事公邸
11月	16日	中小企業・裾野産業委員会セミナー	パレスホテル
11月	17日	日本人学校運営委員会	双日ベトナム
11月	17日	日立エレベーターベトナム開所式	パークハイアット
11月	18日	梅田大使との意見交換会	ニューワールドホテル
11月	18日	ジャパンベトナムフェスティバル開会式	9月23日公園
11月	18日	ジャパンベトナムフェスティバルレセプション	ニューワールドホテル
11月	19日	日越交流ほんおどり大会	9月23日公園
11月	20日	ベトナム先生の日贈呈式	ニューワールドホテル
11月	21日	J会合	総領事館
11月	21日	川崎市スポーツ協会齋藤会長との意見交換会	JBAH
11月	21日	ジャパンフェスティバル事務局との意見交換会	JBAH
11月	22日	みずほ銀行ホーチミン支店10周年記念式典	ホテルニッコーサイゴン
11月	22日	金融・税務・通関委員会ベトナム税制セミナー	パレスホテル
11月	23日	社会貢献委員会	SMBC
11月	28日	経済産業省 増田参事官との意見交換会	JBAH

◆12月 ▼開催場所

12月	1日	バンコク日本人商工会議所繊維部会との意見交換夕食会	TIB
12月	2日	渡邊中小企業・裾野産業支援委員長との意見交換会	JFEスチール
12月	2日	門脇組織・規約委員長との意見交換会	JFEスチールベトナム
12月	2日	ホーチミン市部会、懇親会	三菱電機ベトナム
12月	6日	在越日本大使館主催天皇誕生日祝賀レセプション	ハノイ/シェラトンホテル
12月	8日	ホーチミン市友好連合会主催天皇誕生日レセプション	フレンドシップハウス
12月	8日	中嶋総領事送別会	K-cafe
12月	8日	スポーツ・文化委員会マラソン打合せ	さくらまつり
12月	9日	武部勤ジャパンベトナムフェスティバル実行委員長との意見交換会	JBAH
12月	9日	天皇誕生日レセプション	ホテルニッコーサイゴン
12月	10日	JBAHマラソン前日準備	日本人学校
12月	11日	JBAHマラソン	7区フーミーフン
12月	11日	ロート製薬20周年記念式典	統一会堂
12月	12日	週刊ベッター前野会長取材	JBAH
12月	12日	JBAH執行役員会	JBAH
12月	14日	ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル	レックスホテル
12月	15日	JBAH理事会	JETRO
12月	16日	JICA農業ミッションとの交流懇親会	マジェスティックホテル

12月 20日	金融・税務・通関委員会ベトナム税制セミナー	パレスホテル
12月 21日	J会合	総領事館
12月 21日	ドンナイ部会	パレスホテル
12月 22日	ピンズン部会	ルネッサンスリバーサイドホテル
12月 22日	建設部会	JETRO
12月 22日	社会貢献委員会	SMBC
12月 28日	ITPC向けビデオクリップ撮影	JBAH

◆1月

		▼開催場所
1月 6日	JBAH新年会	ホテルニッコーサイゴン
1月 10日	日越共同イニシアティブ中間評価会合	計画投資省
1月 20日	バリアンタウ部会	NEMOホテル
1月 20日	第一・第二サービス合同部会	ホテルエクアトリアル
1月 22日	社会貢献委員会第2回児童養護施設訪問	Que Huong Charity Center
1月 23日	IT部会	JETRO
1月 24日	一般社団法人日本能率協会との意見交換会	JBAH
1月 24日	スポーツ・文化委員会	JBAH
1月 25日	JBAH会員特別講演会「眼科医・服部匡志先生講演会」	ロッテレジェンドホテル
1月 25日	服部先生との懇親夕食会	クリスタルジェイド
1月 25日	日本人学校運営委員会	双日ベトナム

◆2月

		▼開催場所
2月 8日	矢ヶ部総領事代理主催「四行合同ホーチミン市研修」参加者との懇親会	総領事公邸
2月 8日	大阪市ポートセールスセミナー	ニューワールドホテル
2月 9日	中小企業・裾野産業支援委員会	JBAH
2月 10日	JBAVとのVBF意見交換会	三菱商事
2月 10日	広報委員会	JBAH
2月 11日	社会貢献委員会「ロンアン省橋架け替え」完成セレモニー	ロンアン省
2月 13日	JBAH執行役員会	JBAH
2月 13日	Gecoss Vietnam社設立披露式	ソフィテルサイゴンプラザホテル
2月 14日	ホーチミン市税務局・通関局対話集会	グランドホテル
2月 16日	小松島商工会議所ミッション団との懇親夕食会	VIET HERITAGE
2月 16日	関西経済連合会との意見交換会	JBAH
2月 16日	農業農村開発省との意見交換会	JBAH
2月 16日	JBAH理事会	パレスホテル
2月 17日	日本人学校新校舎竣工式	日本人学校
2月 17日	中小企業・裾野産業支援委員会主催セミナー講演	パレスホテル
2月 20日	三島商工会議所創立70周年海外視察団向けレクチャー	JBAH
2月 20日	ベトナム日本建築フォーラム交流レセプション	GEMセンター
2月 20日	大阪大学白川名誉教授との意見交換会	JBAH
2月 20日	スポーツ・文化委員会	JBAH
2月 21日	公安局との意見交換会	JBAH
2月 22日	堺市狭間副市長との意見交換会	JBAH
2月 23日	河上総領事表敬訪問	総領事館
2月 23日	日本人学校運営委員会	双日ベトナム
2月 23日	OVTA・JBAH共催セミナー	JETRO
2月 23日	建設部会	JETRO
2月 24日	日本空調システムクリーニング協会向けレクチャー	JBAH
2月 25日	ASEAN事務局長会議	バンコク日本人商工会議所
2月 27日	伝統和文化マナーマイスター協会両宮理事長との意見交換会	JBAH
2月 28日	旭硝子/石村会長との意見交換会	JBAH
2月 28日	新潟県JICA合同ミッション団向けレクチャー	JBAH

◆3月

		▼開催場所
3月 1日	クアン国家主席夫妻主催天皇后両陛下歓迎晩餐会	大統領府
3月 1日	堺商工会議所ミッション団との夕食懇親会	ソングー
3月 2日	天皇后両陛下ご接見	ハノイ/シェラトンホテル
3月 2日	梅田大使主催天皇后両陛下歓迎晩餐会	ハノイ/シェラトンホテル
3月 3日	静岡大学野澤教授との意見交換会	JBAH
3月 3日	中小企業・裾野産業支援委員会主催「ベトナムでの現地調達率拡大のための裾野産業支援セミナー」	JETRO
3月 5日	JBAH全越オープンテニス大会	ワンダーランドテニスクラブ
3月 6日	JBAH社会貢献委員会 サッカーボール提供セレモニー	ホーチミン市7区Luong The Vinh小中学校
3月 9日	中小企業・裾野産業支援委員会「ベトナム現代史学習会」	ロイヤルホテル
3月 10日	オムロン/作宮副社長との意見交換会	JBAH
3月 10日	労働・雇用委員会	JBAH
3月 13日	JBAH執行役員会	JBAH
3月 16日	日本人学校卒業式	日本人学校
3月 16日	JBAH理事会	パレスホテル
3月 17日	金融・保険部会講演	JBAH
3月 17日	川崎市国際経済推進室との意見交換会	JBAH
3月 17日	日本・台湾幹部交流会	ロッテレジェンドホテル
3月 20日	上田次期事務局長着任	JBAH
3月 20日	J会合	総領事館
3月 20日	河上総領事主催JBAH執行役員との公邸夕食会	総領事公邸
3月 21日	金融・税務・通関委員会「ベトナム税制セミナー(応用編)」	ロイヤルホテル
3月 24日	関西経済連合会との意見交換会	JBAH
3月 27日	ロンアン部会	JBAH
3月 29日	2016年度第2回バリアンタウ人民委員会との意見交換会	バリアンタウ人民委員会庁舎

2016年度

役員一覧

(2017年3月現在)

会 長	前野 (JFE スチールベトナム)
副 会 長	坂上 (丸紅ベトナム / 社会貢献・会員相互間交流関連管掌) 滝本 (JETRO ホーチミン事務所) 野田 (AGC ケミカルズ・ベトナム / 事業環境改善関連管掌) 門脇 (ベトナム三菱商事 / 商工会組織・情報提供関連管掌)
事 務 局 長	大林 (大阪商工会議所)
監 事	岡田 (TMI 総合法律事務所)

対外渉外委員会	委 員 長	副委員長	委 員	
事業環境 委員会	中川 (長島・大野・常松法律事務所)	竹田 (大塚 OPV)	【労務チーム】	志風 (NSSB サイゴンコイルセンター) 滝本 (ジェトロホーチミン事務所) 安部 (ビナエコボード)
			【税務通関チーム】	小野瀬 (ERNST & YOUNG VIETNAM) 南雲 (JETRO ホーチミン事務所)
			【生活安全チーム】	安立 (アルソックベトナム) 三宅 (総領事館)
			【渉外 VBF チーム】	高野 (ベトナム住友商事) 山下 (東京急行電鉄)
労働・雇用 委員会	志風 (NSSB サイゴンコイルセンター)	山本 (大成美術印刷ベトナム)	大矢 (西村あさひ法律事務所) 小林 (TMI 総合法律事務所) 正脇 (サッポロベトナム) 滝本 (JETRO ホーチミン事務所) 金井 (マブチモーターベトナム) 川窪 (古河オートモーティブパーツ) 竹田 (オリンパスベトナム) 三木 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所) 渡邊 (TOWA INDUSTRIAL VIETNAM) 栗原 (JETRO ホーチミン事務所) 中尾 (ジューキベトナム) 本宮 (富士通コンピュータプロダクツ) 横田 (キャノンマーケティングベトナム)	
金融・税務・通関 委員会	小野瀬 (ERNST & YOUNG VIETNAM)	江村 (郵船ロジスティクス)	【金融チーム】	秋山 (アコム)
			【通関チーム】	林 (KONOIKE VINATRANS LOGISTICS)
			【税制チーム】	樋口 (デロイトベトナムタックス) 森田 (ERNST & YOUNG VIETNAM) 渡 (KPMG) 實原 (IGLOCAL RESOURCE) 樋崎 (ES NETWORKS VIETNAM) 堀切 (AGS) 村上 (HSKV ベトナム) 清水 (NEXIA STT) 則岡 (GT) 安田 (PRICEWATERHOUSECOOPERS) 堀切 (AGS)
			【アドバイザー】	加藤 (在ベトナム日本国大使館) 渡邊 (TOWA INDUSTRIAL VIETNAM)
生活環境委員会	安立 (アルソックベトナム)	堀 (豊田通商ベトナム)	岡 (INTERNATIONAL SOS) 富浜 (INTERNATIONAL SOS) 甲斐崎 (総領事館) 井上 (HOTEL NIKKO SAIGON) 井上 (MSIG INSURANCE) 徳元 (ロジテムベトナム) 長田 (クエストベトナム) 松本 (ウェストコーストデンタルクリニック) 土橋 (シャープエレクトロニクス) 衣笠 (H.I.S SONG HAN VIETNAM TOURIST)	

対外渉外委員会	委員長	副委員長	委員
渉外・VBF 委員会	高野 (ベトナム住友商事)	今井 (三井住友銀行)	【投資・通商チーム】 中川(長島・大野・常松法律事務所) 松丸(BAKER & MCKENZIE) オットーマンフレッド(DUANE MORRIS) 事務局:橋本(ベトナム住友商事)
			【税務チーム】 小野瀬(ERNST & YOUNG VIETNAM)
			【労務チーム】 三木(アンダーソン・毛利・友常法律事務所) オットーマンフレッド(DUANE MORRIS) 志風(NSSB サイゴンコイルセンター)
			【通関チーム】 江村(郵船ロジスティクスベトナム)
			【インフラチーム】 オットーマンフレッド(DUANE MORRIS) 井石(鹿島建設)
			【FJCCIA チーム】 南雲(JETRO ホーチミン事務所)
			【海外視察チーム】 井石(鹿島建設) 山元(三井住友銀行)
			【国際コミュニケーション】 野田(AGC ケミカルズベトナム) オットーマンフレッド(DUANE MORRIS) 山元(三井住友銀行)
社会貢献 委員会	今井 (三井住友銀行)	本田 (双日ベトナム)	池田(ベトナム三井物産) 橋本(ベトナム住友商事) 龍田(ユナイテッドインシュアランス) Le Anh Thu(清水建設) 小野(三井住友銀行) Tran Thuy Vi(三井住友銀行) Tran Quang Viet(三井住友銀行) 館山(セコムベトナムセキュリティサービス) 琉咲(総領事館) 吉原(G.A. コンサルタンツベトナム) 館田(H.I.S SONG HAN VIETNAM TOURIST) 馬淵(アオザイ会) ※オブザーバー 西村(JBAH) 中安(オリザベトナム) 若林(VJCC-HCM) Ngo Hong Nhung (IGLOCAL) 須藤(LOTTE LEGEND HOTEL SAIGON) 野村(アオザイ会) ※オブザーバー
スポーツ・文化 委員会	竹林 (王子テックス(ベトナム))		小野瀬(ERNST & YOUNG VIETNAM) 山下(東京急行電鉄) 中川(ベトナム日本通運) 柳(日本ペイントベトナム) 久保田(ベトナム三菱商事) 三浦(三菱東京 UFJ 銀行) 森本(ソフトバンクテレコムベトナム)
日本人学校運営 委員会	籠入 (双日ベトナム)	岡島 (安藤・間)	小林(みずほ銀行) 大矢(ホーチミン日本人学校校長) PTA 会長 坂本(総領事館) ※オブザーバー 横山(双日ベトナム) 佐々木(ホーチミン日本人学校教頭) 宮澤(ホーチミン日本人学校教務主任) スクールバス担当 ※オブザーバー
組織・規約 委員会	門脇 (ベトナム三菱商事)	岡田 (TMI 総合法律事務所)	滝本(ジェットロホーチミン事務所) 古賀(バオベト東京海上保険) 廣重(ベトナム三菱商事)
広報 委員会	塩 (豊田通商ベトナム)	神宮宇 (ハウス食品ベトナム) 中安 (オリザベトナム)	櫻井(バイタリフィ・アジア) 三宅(総領事館) 前岡(ベクトルグループ) 平櫛(AAB) 野口(VJ MEDIA) 三木(アンダーソン・毛利・友常法律事務所) 角(オリザベトナム) 西村(JBAH)
中小企業・ 裾野産業支援 委員会	渡邊 (TOWA INDUSTRIAL VIETNAM)	實原 (IGLOCAL)	滝本(ジェットロホーチミン事務所) 栗原(ジェットロホーチミン事務所) 光永(協伸ベトナム) 志風(NSSB サイゴンコイルセンター) 杉原(ルネサスデザインベトナム) 臼田(KYOUWA VIETNAM) 中尾(ジューキベトナム) 大野(大垣共立銀行) 市川(ILC Vietnam) 石田(JFE メカニカルベトナム) 中川(長島・大野・常松法律事務所) 清水(MINH PHUONG LOGISTICS) 本橋(ベトナム味の素) 吉田(ITM HCMC) 山川(損保ジャパン日本興亜)

2016年度
役員一覧

商 工 部 会	理事 定数	部会長	副部会長	理 事
貿易部会	(5)	富士(ベトナム三井物産)	倉重(伊藤忠ベトナム)	佐野(クラレトレーディングベトナム) 塩(豊田通商ベトナム) 鉦入(双日ベトナム)
建設部会	(4)	清水(清水建設)	天野(マエダベトナム)	田中(ニシオレントオールベトナム) 清水(きんでんベトナム)
運輸部会	(3)	鳥崎(佐川急便ベトナム)	難波(ロジテムベトナム)	菊谷(大森廻漕店)
第一サービス部会	(4)	江塚(弘亜社ベトナム)	三木(アンダーソン・毛利・友常法律事務所)	岩佐(ベトナム公文) 古屋(クイックベトナム)
第二サービス部会	(3)	小山(東京急行電鉄)	鶴身(ブランテックベトナム)	鎌倉(サイゴンタワー)
IT部会	(3)	沼倉(NECベトナム)	村竹(NTTデータベトナム)	島(アクトブレーションベトナム)
金融・保険部会	(3)	渡辺(ユナイテッドインシュアランス)	小野瀬(Ernet & Young Vietnam)	今井(三井住友銀行)
タントアン・リンチュン部会	(3)	太田(日星電気ベトナム)	川窪(古河オートモーティブパーツ)	中尾(ジューキベトナム)
ホーチミン市部会	(5)	穎川(三菱電機ベトナム)	吉良(JX日鉱日石開発)	澤登(近藤ベトナム) 梶原(エースコックベトナム) 下江(富士ゼロックスベトナム)
ビンズン部会	(5)	山本(大成美術印刷ベトナム)	岸野(トンポベトナム)	山下(ベカメックス東急) 北垣(オムロンヘルスケア) 佐野(トレックス・ベトナム・セミコンダクター)
ドンナイ部会	(5)	本宮(富士通コンピュータプロダクツ)	竹田(大塚OPV)	諸橋(原田工業ベトナム) 大竹(フジクラエレクトロニクスベトナム) 杉田(浅羽ベトナム製作所)
ロンアン部会	(2)	正脇(サッポロベトナム)	安部(ビナエコボート)	
バリアンフタウ部会	(2)	野田(AGCケミカルズ・ベトナム)	関谷(チャイナスチールスミキンベトナム)	

2016年度(2016年4月~2017年3月)の動き:ベトナム・日本・世界

	ベトナム	日本	世界
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●7日にグエン・スアン・フック新首相が就任宣誓を行い、新しい内閣が始動した。 ●北中部ベトナムの海岸200キロメートルにわたり、大量の魚の死骸が流れ着く異常事態が発生した。 ●4月から5月にかけて、ベトナム南部で「1世紀ぶり」と言われる記録的干ばつが発生。被害規模は推計4億ドル。28日には、ソクチャン省で政府が対策会議を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●14日21時26分頃、熊本県でマグニチュード6.5の地震が発生。確認されているだけで約200人の死者が発生し、被災者の数は20万人近くに及んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●21日、カリスマ的人気を誇ったプリンスが死去。享年57歳。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ●22日、ベトナムの第14期総選挙が実施された。 ●22~25日、アメリカのオバマ大統領が初めてベトナムを訪れた。ハノイとホーチミンの両都市で熱烈的歓迎を受けた。 ●フック首相が、26~28日に日本を訪れ、三重県で開催された伊勢志摩サミットに出席した。安倍首相とも会談。 	<ul style="list-style-type: none"> ●26~27日に三重県志摩市で第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催された。 ●27日、アメリカのオバマ大統領が広島訪問。核兵器が投下された日本の都市へ、現職の大統領が訪問するのは初。慰霊碑に献花し、17分にわたって「核兵器のない世界」に向けたスピーチを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●9日、「パナマ文書」の内容が公開され、世界の首脳らがタックスヘイブ(租税回避地)を通じて、不透明な金融取引を行っていたことが暴露。日本やベトナムも含む大きな範囲で波紋を呼んだ。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●3~5日、各国の国防トップが集まるアジア安全保障会議がシンガポールで開催され、ベトナムも出席した。 ●25日、ドンナイ省で崩落した橋が復旧し、南北統一鉄道の運行が3ヶ月ぶりに正常された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●16日、米メジャーリーグ(MLB)、マイアミ・マーリンズのイチローは2安打を打ち、日米通算の安打数を4257本(日本1278本、米国2979本)とし、ビート・ローズ(元シンシナティ・レッズ)のメジャーリーグ通算最多安打数・4256安打を更新した。 ●19日に、選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が施行された。参政権の拡大は71年ぶり。 	<ul style="list-style-type: none"> ●24日、イギリスが国民投票で「EU離脱」を決定。残留派のキャメロン首相は辞任、7月13日にメイ政権が発足した。 ●30日、フィリピンでドゥテルテ氏が大統領に就任した。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●30日に高島屋ホーチミン店がオープン。ベトナムでは初の日系百貨店。 	<ul style="list-style-type: none"> ●22日、スマートフォン向けの人気ゲーム「ポケモンGO」の配信が日本でも始まった。自動車を運転しながらの操作に伴う交通死亡事故などトラブルも相次いだ。 ●26日、神奈川県知事選挙で「津久井やまゆり園」に、元職員が刃物を持って侵入、入所者19人が刺殺された。 ●31日、舛添前知事の辞職に伴う都知事選が投票され、無所属の小池百合子・元防衛相が当選。女性の都知事は初めて。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日、バングラデシュの首都ダッカで、イスラム過激派組織(ISIL)による銃撃事件が発生した。日本人も7人死亡。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●リオデジャネイロ夏季オリンピックで、8月7日、男子10メートル・エアピストルに出場したヴィン選手が、ベトナム人として史上初の五輪金メダルに輝いた。50メートル・ピストルでも、銀メダルを獲得。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リオデジャネイロ夏季オリンピックで、日本は史上最多のメダル41個(金12、銀8、銅21)を獲得した。金メダル数で世界6位。 ●7日、天皇陛下が退位のご意向を示唆された。 ●11日、2016年からこの日が「山の日」として新たな祝日になった。 ●25日、ピコ太郎がYouTube上に約1分間の動画「PPAP」を投稿。世界的な人気となる。 ●26日に公開された映画「君の名は。」が大ヒット。ベトナムでも上映された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●5日~21日、第31回夏季五輪リオデジャネイロ大会が開催された。国ぐるみのドーピング違反が指摘されたロシアは、過去の大選手数に比べて一回り小さい規模での参加となった。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●9月の新学期から、ハノイ4校とホーチミンシティ1校の5校で、第一外国語としての日本語クラスが開講された。3年生が対象。 ●9日、ハノイに、同国と日本の両政府が共同で設立する「日越大学」が開校した。まず大学院の修士課程から。 	<ul style="list-style-type: none"> ●3日、将棋の奨励会で藤井聡太が史上最年少の14歳2か月で四段昇段(プロ入り)を内定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●18日に投票が行われたロシア下院選挙で、プーチン大統領の与党「統一ロシア」が4分の3超となる343議席を獲得。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●10月~12月に、ベトナム中部で相次いで洪水が発生。死者を含む甚大な被害。 ●11日、韓国サムスン電子は発売直後から発火事故が相次いでいた新型スマートフォン「ギャラクシーノート7」の生産・販売打ち切りを発表。 ●ベトナム航空とANAが資本提携。10月30日から共同運行を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●29日、日本シリーズ第6戦で北海道日本ハムファイターズが10-4で広島東洋カープを退け、10年ぶり3度目の日本一を達成。 	<ul style="list-style-type: none"> ●13日、スウェーデン・アカデミーは今年のノーベル文学賞をアメリカの歌手ボブ・ディラン氏に授与すると発表した。ミュージシャンの同賞受賞は初めて。ただしディラン氏は12月10日の授賞式には欠席している。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●10日、ベトナム政府は、原発計画を撤回を決定。16日にその方針を日本政府に伝達した。日本のインフラ輸出に打撃。 	<ul style="list-style-type: none"> ●30日、113番元素は日本に由来する「ニホニウム(nihonium, 元素記号:Nh)」となることが確定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●8日に投票が行われたアメリカ大統領選で、共和党候補トランプ・ドナルド氏が、民主党候補のヒラリー・クリントン前國務長官を破り当選。 ●13日、タイのプミポン国王が88歳で死去 ●25日、キューバのカストロ前議長が90歳で死去。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●1日、ベトナムに伝わる伝統信仰「マウタムフー(Mau Tam Phu)」の儀礼が無形文化遺産の代表一覧表へ登録された。 ●2016年の訪日ベトナム人の数が23万3800人で過去最高を更新した。2015年の18万5395人から26.1%増という大幅な伸び。 ●2016年にベトナムで新たに設立された企業は約11万社で、前年を16.2%上回り、最高記録を更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日、ディー・エヌ・エーは、同社のウェブサイトに掲載していた内容に問題があることを謝罪し、すべてのウェブサイトを非公開にすることを発表。 ●10日に行われたノーベル賞授賞式で、大隅良典・東京工業大名誉教授が、生理学・医学賞を受賞した。 ●31日 アイドルグループ・SMAPが解散。 	<ul style="list-style-type: none"> ●3日、Jリーグチャンピオンシップ決勝第2戦で、鹿島アントラーズが浦和レッズに2-1で勝利。鹿島アントラーズの7年ぶり8回目の優勝が決定。 ●韓国・朴槿恵(パクケネ)大統領の友人による国政介入事件を受け、韓国国会は12月9日の本会議で、朴氏の弾劾訴追案を可決。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●16、17日にベトナムを訪れた安倍首相がフック首相らと会談。安全保障・経済で連携強化。 ●23日、三村日商會頭、フック首相を表敬訪問。産業振興政策の確立を要望。 	<ul style="list-style-type: none"> ●25日、大関稀勢の里が第72代横綱に昇進。日本出身力士の横綱昇進は19年ぶり。これまで14年間、日本出身力士の横綱は不在だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●20日、トランプ氏が宣誓を行い、第45代アメリカ合衆国大統領に就任。翌日から世界約80カ国で抗議デモが発生。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●27日、日本政府観光局がハノイ事務所を開設した。訪日客のさらなる増加に向け情報発信強化。 ●28日から3月5日まで、天皇皇后両陛下がベトナムを訪問。ハノイとフエに滞在。 	<ul style="list-style-type: none"> ●10日、ワシントンDCにて、安倍首相とドナルド・トランプアメリカ大統領が首脳会談。 ●24日、毎月月末金曜日の午後3時終業を奨励する「プレミアムフライデー」が初実施された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●13日、北朝鮮の第2代最高指導者金正日総書記の長男で、現最高指導者金正恩委員長の異母兄の金正男が、滞在先のマレーシア・クアラルンプール国際空港で、猛毒のVXガスで殺害された。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●8日の株式市場で、格安航空会社・ベトジェットエアの株価の時価総額が、初めてベトナム航空を超えた。同社のタオCEOは、ベトナム初の女性ビリオネア。 ●26日、千葉県でベトナム国籍の小学校3年生女児の遺体が発見される。4月14日には、近所に住む40代の日本人男性が死体遺棄の容疑で逮捕された。 	<ul style="list-style-type: none"> ●10日、全国で民泊を解禁する民泊新法が閣議決定された。 ●12日、サウジアラビアのサルマーン・ビン・アブドゥルアズィーズ国王が来日。同国の国王が来日するのは46年ぶり。 ●23日、衆参両院の予算委員会が森友学園の籠池泰典氏を証人喚問。 	<ul style="list-style-type: none"> ●31日、韓国第18代大統領・朴槿恵が逮捕され、ソウル拘置所に収容された。

ホーチミン日本商工会(JBAH)事務局のご紹介

ホーチミン日本商工会の事務局には、事務局長に加え、日本人1人、ベトナム人2人、合計4人のスタッフが勤務しています。ご質問やご意見がある場合はお気軽にお問い合わせください。会員企業の皆様の、商工会活動への積極的な参加をお待ちしています。



JBAH 事務局があるのは、このサンワタワーの14階。1995年に建てられたホーチミン市で最初の高層オフィスビルで、老舗として今も一目置かれ、有名企業が多数入居しています。



サンワタワーがあるグエンフエ通りは市内きっての大通りです。通りの中央部は歩行者天国となっています。



サンワタワーの斜め向かいにある高層ビル・タイムズスクエア。総会が行われたレペリーサイゴンも、ここに 있습니다。



事務局には、Saigon Roomと名付けられた大会議室と、Osaka Roomと名付けられた小会議室があります。



現在、事務局のすぐ近くを走るレロイ通りは、日本のODAによる地下鉄1号線の建設が進められています。



サンワタワーの前のグエンフエ通りには、噴水広場があり、市民の憩いの場となっています。



毎年、JBAHが表敬訪問に訪れるホーチミン人民委員会庁舎から見たグエンフエ通り。

私たちが皆様のお手伝いをします！

左から、上田真也さん(次期事務局長)、チャン・ティ・バオ・チャウさん、大林功さん(現事務局長)、西村彰子さん、ファン・ティ・ヴァン・アンさん、伊藤美由起さん(次長)。



御礼の言葉

事務局長・大林功 (在任期間:2013年4月~2017年4月)

在任中、関係諸機関、そして会員企業の皆様には、本当にお世話になりました。皆さんに支えられ、なんとかここまでやってこられました。事務局長の仕事は、帰宅が深夜に及ぶことが多く、こういう毎日を「しんどい」と思ったことは正直ありました。でも「辛い」と思ったことは、一度もありません。

今、胸を張って言うことは、世界中におおよそ100の日本商工会が海外に存在しますが、私は世界一幸せな事務局長だったということです。私はホーチミンという街が好きです。JBAHのことも大好きです。そして、何よりも皆さんのことを愛しています。

皆さんとの出会いに感謝し、私は大阪に帰ってから、ベトナム、ホーチミンの益々の発展、JBAHの一層の成長、そして皆さんの大活躍を、心から応援しています。4年間、本当にありがとうございました。

**JBAH会員
になろう!**



The Japanese Business Association
of Ho Chi Minh City

ホーチミン日本商工会 (JBAH) 入会のご案内

会員企業数 893社!
(2017年3月現在)

体験しよう!
あなたのJBAH

◆ホーチミン日本商工会とは?

●Point 1

会員同士の情報交換・親睦の場を提供しています。

業種・エリア別に13の部会が存在、積極的に情報交換・親睦が行われています。

●Point 2

事業環境および生活環境の改善に取り組んでいます。

ベトナム政府への各種提言・要望活動を行っています。

●Point 3

在留邦人が安心して暮らせる環境作りをしています。

日本人学校の運営や、在留邦人のための各種イベントの開催などを行っています。

●Point 4

ベトナム社会に貢献し、共存共栄を目指しています。

日本語教師の育成支援や、恵まれない方々への援助活動などを行っています。

◆ご入会のメリット

●Point 1

専門家によるセミナーに無料で参加ができます。

テーマは実務的な内容から生活に関するものまで多彩。JBAH会員限定です。

●Point 2

事業遂行に必須である最新の情報が入手できます。

これらはJBAHウェブサイトの会員専用ページで閲覧できます。

●Point 3

懇親会やゴルフなどを通じて、人脈が大きく広がります。

事業をする上で欠かせない人的ネットワークが得られます。

●Point 4

あなたの要望がベトナム当局に届きます。

1社では微力でも会員900社が集まれば、政府を動かすことができます。

お申し込み・お問い合わせは、ホーチミン日本商工会事務局まで。英語・ベトナム語のパンフレットも用意しております。

住所 : 1407 Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue,
Dist. 1, HCMC, Vietnam

電話 : (84) 08-3821-9369

ファックス : (84) 08-3821-9370

業務時間 : 月曜日～金曜日 8:30～12:00, 13:30～17:00

休日 : 土曜日、日曜日、ベトナム国の定める祝日、
12月30日～1月3日

Website : <http://www.jbah.info.vn/jp/>

E-mail : info@jbahvn.org

(日本語、英語、ベトナム語可)



最新情報をフェイスブックページでも発信しています。
「JBAH - ホーチミン日本商工会」で検索ください。
<https://www.facebook.com/JBAH.FP/>



The Japanese Business Association
of Ho Chi Minh City

<http://www.jbah.info.vn>